

THE MONTHLY REPORT

OF

SEITO JITSUGYO KIOKWAI.

SEPTEMBER 1919 No. 21.

大 正 八 年 九 月

青 島 實 業 協 會

月 報

第 貳 拾 壹 號

大正七年八月十九日第三種郵便物認可 (每月一回二十日發行)
大正八年九月二十日發行

△本號要目▽

△統	△倫	△法	△會	△青	△內	△主	△金	△海	△貿	△資	△協
最近工場一覽表	敦銀塊相		社島雜要	外經濟要	要貿易品商	運及鐵				會錄	
	計場規報錄報				況融道易料事						

▽青島實業協會月報 第貳拾壹號 目次△

協會錄事

□定例總會……………一

□庶務要件……………一

□附屬運動部彙報……………二

資料

□山西省事情……………二

貿易

□青島貿易近況(七月中)……………二

□主要輸出入貨物情勢(七月中)……………二

□民船貿易(八月中)……………二

海運及鐵道

□青島最近出入船舶(七月中)……………二

□近海運賃軟弱……………三

□歐航運賃低落……………三

□濠航運賃值上……………三

□大西洋航路悲觀……………三

□青島內地航值上說……………四

□三驛發著主要貨物情勢(八月中)……………四

□濟南驛取扱貨物(七月中)……………五

金融

□伊支郵船會社設立計畫……………一五

□青島港出入汽船細別表(七月中)……………一六

□銀塊並ニ爲替相場(八月中)……………二一

主要貿易品概況(八月中)

□綿絲布 □砂糖 □燐寸 □麻袋 □米 □紙卷煙草 □木材 □花生實
□花生油 □豆油 □棉花 □石炭 □コークス □牛肉 □牛皮 □鹽
□桐材 □小麥

內外經濟要報

□大連の豆油……………二五

□支那の製粉業……………二七

□綿糸市場近況……………二七

青島雜錄

□砲臺公園設計……………二八

□燈臺初點式……………二八

□獨塹人財產調……………二八

□青島銀行増資……………二八

□損害賠償參千圓……………二九

□商標權訴訟和解……………二九

□紡績計畫續出……………二九

輸入麥五千噸	二九
燐寸濟南進出	二九
花生油輸出高	二九
燐寸漸次恢復	二九
原鹽輸出盛況	二九
豆油輸出旺盛	二九
石炭輸出數量	三〇
小港附近地價	三〇
英國領事更迭	三〇
小港土地買占	三〇
開治輸出牛肉	三〇
味噌醬油釀造組合設立	三〇
兩水源通水管	三〇
砂、砂利同業組合	三〇
生牛輸出頓挫	三〇
排日貨と外船	三一
山鐵炭業獎勵	三一
桐商制限撤廢	三一
營業許可數	三一
博山炭業救濟	三一
銅鑛の開掘	三一
博山紙幣整理	三一

會社要報

☐ 蛋粉會社鼎立 ☐ 東魯燐寸登記 ☐ 會社設立注意 ☐ 青銀拂込好成绩 ☐

綿絲工場計畫 ☐ 內外綿完成期 ☐ 東洋製油の進工 ☐ 山東信託成立 ☐ 兩
 葉煙草成立 ☐ 青銀第二回拂込 ☐ 東拓支店許可 ☐ 相互建築許可 ☐ 中外
 綿業實質 ☐ 山東運輸計畫 ☐ 東亞興業現況 ☐ 山東葉煙草滿株 ☐ 蛋粉會
 社創立 ☐ 山東信託の總會 ☐ 中華煙の成立期 ☐ 青島鹽新株拂込

青島日支人營業種別

☐ 日支人營業別(八月末調) 三四
☐ 歐米人營業別(八月末調) 三九

法規

☐ 青島守備軍臨時戶口調查規則 三九

倫敦銀塊相場

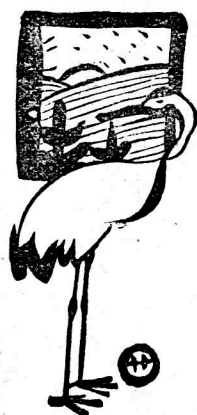
☐ 八月中表示 四一

寄贈書類

☐ 七月及八月到著の分 四一

附錄

管内工場一覽表



青島實業協會月報 第貳拾壹號

協會錄事

九月定例總會

豫定の如く十日午後六時半グラントホテルに於て開會、出席者左の如し(順序不定)

橫濱正金銀行支店	吉澤洋行
中村組支店	東亞煙草販賣所
鈴木商店出張所	日本綿花出張所
原田汽船會社支店	三菱商事出張員
朝鮮銀行支店	江商會社支店
伊藤忠商事會社	大連汽船會社出張所
南滿鐵埠頭出張所	湯淺貿易出張所
東洋鹽業會社支店	岩城商會支店
大倉商事會社出張所	青島製粉會社支店
泰利商會	新利洋行
内外綿會社出張所	山東運輸株式會社
青島絲廠	大連製氷會社支店
山東化學工業所	青島鹽業會社

以上二十六名、晚餐後議事に入る

一、東方公司支店退會の件

右は太田會頭より今回東方公司支店都合に依り退會届提出ありたるに付御報告致す旨述べ

二、東省實業株式會社支店入會の件

例に依り投票承認票多數なりしかば其入會を承認することに決せり

三、龍口銀行支店入會の件

前同様投票の結果多數を以て承認することゝなれり

四、書記長會務報告の件

八月中會計及主要事務に就き吉見書記長より報告せり

五、元商品陳列所跡使用に關する件

右は金子慶治氏より市民會及實業協會連名を以て元陳列所跡使用方早川青島民政署長宛出願したること竝に民政部財務部長の諒解を得たること等詳細に亘り報告後未だ使用方許可指令に接せざるも此の機會に於て陳列所跡を會議室に充當すると同時に事務室の擴張及職員宿舍の設備等夫々考慮し置くは必要のことと信するを以て之に要する目算銀六百五拾圓豫め御協賛を乞ふ旨述べ太田會頭より滿場に計りたる結果異議なく可決せり

六、塊炭供給に關する件

右は石橋工業部長より過日工業用塊炭供給に關し鐵道部當局に交渉の結果希望貫徹當局より塊炭入用者は毎月五日迄に所要額を申込まれたしとのことなりしが此の點は充分御注意然るべしと述べ之にて議事を終り懇談に時を費し午後十時散會せり

庶務要件

◎青島港圖寄贈 原田汽船會社より會員宛「青島港圖」の寄贈あり八月十二日配附(二葉宛)せり

◎鹿兒島商業會議所宛回答 當地と九州方面との商取引關係照會に關し八月十五日鹿兒島商業會議所宛回答せり

◎大正八年豫算認可 當協會大正八年收支豫算の件八月十六日青島民政署長より認可ありたり

◎海外發展博覽會延期の件 明春東京に於て開會の筈なりし海外發展博覽會は火災の爲め延期することとなりたる旨入澤總務部長より移牒ありたり

◎調査回答要項 八月中各地よりの調査照會に付回答したる要項左の如し

一、大正七年中重要物產現物賣買相場の件

青島 民政署勸業係宛

一、青島に於ける牛骨、骨粉取扱業者に關する件

下ノ關 阿南榮太郎商店宛

一、青島に於ける牛皮取扱業者の件

東京 久野商店宛

一、青島電話番號簿の件

同上 同上

一、青島に於ける文具店

奈良縣 米田竹二郎宛

一、北海道材需給狀態の件

小樽 野村合名會社宛

附屬運動部彙報 (八月)

◎有志釣魚大會 運動部有志釣魚大會は八月十日午後一時旭岬に釣魚場を選び競技會を開きたるが來會者二十餘名清遊を盡し

午後七時散會せり

◎三井對聯合軍庭球試合 八月十七日午後一時協會コートに於

て三井對協會聯合軍テニスマッチを行ひ三井軍大勝せり

◎短艇練習用バック設備 豫て考案中のポート練習用バックは既に三臺製作を終りたるを以て八月二十日正金銀行構内に二臺

三井構内に一臺設備し廣く部員の練習に供せり

◎水泳大會中止 青島新報社主催水泳大會は今秋盛大に舉行の筈にて協會側に於ても之が出場選手等決定し居たる所コレヲ病

流行の爲め該水泳大會は中止さるゝに至れり

◎ウキンナーカップ 及鶴田カップテニス競技會は八月二十四

日協會コートに於て開催市川(三井)松本(朝鮮銀行)惠藤(湯淺)

千足(三井)の諸氏入賞せり尙ほ鶴田カップの入賞者は三村(三

井)上田(滿鐵)惠藤(湯淺)村井(福昌)の諸君なり

資 料

山西省事情

□ 概 觀 □

面積 八一八三五方哩

人口 一二二〇萬(一方哩平均約一四九人)

名稱 別名を晉又は山左と稱す山西又は山左と稱するは太行山

々脈或は恒山の西方に位するを以てなり

形勢 太原府の標高四七九〇呎高原に位し山岳に富み其間黄土

及び沖積層ありて富饒なる地ありと雖も農產物豊富ならず、

石炭及び鐵は產額極めて巨多にして學者の測定によれば世界

現在の石炭消費額を以て推算すれば優に數千年全世界の需要

の注意あり官憲の意思能く徹底し區長あり村長ありて自治圓滑に行はれ治績歴然たるものあるのみならず而かも到る處國民學校あり教育普及に對する努力の跡も察せられ模範省の名必ずしも過褒に非るを思はしむ更に驚く可きは辯髮者一名もなきことにして如斯多年の慣習を斷乎として改めしめむか爲には人民の指導並びに監督上異常の熱心を以てするに非ざれば能はざるを思はしむ太原に入りて督軍の爲人を聞き施政の方針を知り又其實績を見るに及ばば何人も直に模範省たるの價值あるものと認む可き所以を知らん其原因と認む可きものを探究するに恐らく左に列擧する數項を出でざる可し

一、軍人出身たる督軍が省長を兼ね而かも其人が軍事よりも寧ろ内治に汲々とし且興味を有せること従て行政上に於ける督軍の施設が他の制肘を受くることなく著々實行し得ること

二、督軍が内治に汲々として中央政府に野心なきこと

三、軍事費並に警備費少し即ち軍備として僅かに若干の混成旅團あり又地方は靜穩にして治安は巡警の手に依りて維持せらる従て山東に於て見るが如き龐大なる警備費を必要とせず

四、總ての範を日本式に採れること

五、督軍の爲人に關係する所も亦少からず即ち高遠の理想に走るを避け實行を尙ぶこと能く人言を容るゝこと比較的人格の高潔なること、中央政府に對し從順なること等はなり

以上の外尙看過す可からざるは督軍を補佐するに其人を得たることにして省議會長兼秘書として山西の智囊と稱せらるゝ崔延猷氏ありて所有新施設は此人に依りて畫策せられ參謀長に趙戴文氏ありて常に督軍を輔け社會改良民智啓發に努力しつゝあることは是なり

□ 山西の六政 □

山西施政の方針に關し其の骨子たる可きものは所謂六政なり六政とな消極即ち強制禁止すべき方面に剪髮、纏足、禁土、禁賭の四、積極即ち獎勵すべき方面に水利及び植樹養蠶の二とし六政考核處を設け之を辦理せしむ今其の實施の概況を左に略述せんとす

●剪髮 省内に於ては如何なる山間僻地と雖も現在辯髮を垂るゝ者一名もなし斷髮會當時軍隊警察より成る斷髮班を各地に派遣し強制的に實施せしめ忌避する者には銀六元の罰を科する等老幼貴賤を問はず監督して勵行せしめたるものなり熱心に非ずんば清朝二百餘年の牢乎たる習俗を根柢より打破すること能はざるべし閻氏の施政中確かに成功の第一歩たるを疑はず

●纏足 辯髮に次で支那人の改め難き習慣は纏足なるべし民國以來各省其幼兒の苦痛見るに忍びずとなし纏足の弊習を廢せる者或は壯年の婦女にして放足の結果俄かに足の膨脹を來し天與の幸を專にするを得るに至れるを喜ぶ者等少なからずと雖も山西の如く法を設けて其の實行を勵行せるは他省に於て聽かざる所なり省内各地に於て見る所は纏足會、同分會、學生不娶、纏足婦人會等の放足團體あり又女稽查員を派し査閲せしめ違背するものは罰金を科し或ひは各縣放足の成績を新聞に掲載するが如く或ひは少幼年の小學兒童にして「秃頭生要娶纏足女」或ひは「娶纏足婦女學生」等を記せる布片を胸部に附著せる等大いに努力しつゝあり其の成績も漸次良好にして少、幼女は纏足の者多く八十五歳の老婆にして纏足を解放したる等老中婦間にも亦少なからず斷髮と共に成功の一たるを失はず

●禁土 阿片禁煙に就ても亦大いに努めつゝあり由來山西は鴉片の名産地にて喫煙他省よりも多かりしを以て二三年にして禁絶の成績を擧ぐるは固より難事ならん今各縣揭示に就いて見るに壯年者にして亞片を喫し或ひは賣りて罰金又は禁錮刑に處せらるゝもの約十分の二を占め居るより察すれば吸煙者の跡を絶つは遠き將來に期せざるべからざるも亦以つて如何に是が禁遏に焦慮しつゝあるかを窺ふに足らん

●禁賭 禁阿片と共に禁賭に就ても絶對的禁止に努めつゝあり抑々賭博は支那人娛樂の一に數へらるゝ習癖なれば之を禁止せんとすれば亦大英斷の一たるを失はず彼の屢々大道に見るが如き小賭博は本省に於ては殆んど見る所なかりしが室内に於ては絶對に禁止の實行せられありや否やは大なる疑問なり

●水利及び植樹 山西の黃土は概して肥沃にして各種農産に適するも雨量頗る少く從て收穫多からざるのみならず一朝旱魃に會せんか人民忽ち飢餓に頻するのみならず水に渴て死する者あるに至る是に於てか水源を培養し四時灌漑の水を得んが爲には造林を以て急務なりとなし民國五六年以來盛に植樹を奨勵し官費を以て先主要街道の兩側に數歩毎に行樹(多くは柳樹)を植付けたるのみならず毎年清明節を期して各人必ず一樹を植へしめ怠る者は罰金に處し又は是が保護に關しても罰金刑を科せり各縣には官立苗圃を有し榆其の他の稚樹を栽培せり最近柳、榆等の地味に不適なるを知り胡籐を以て代へんとするに至れりと云ふ而して將來は平地より漸次山地に及ぼす筈なるも山地は一層水に乏しく且土層極て少き爲意の如く植林し得るや否やは頗る疑問なり

平地に於ける耕地には縱横に溝渠を穿ち以て河水を引き或は雨

季氾濫を防ぐに便せり汾河流域に於ける農産物の生長顯著なるを以て見るも山西農産の將來は一に水利の如何に繋るものと云はざるべからず植林は實に山西農産の將來に對し百年の大計を定むるものなり彼の自家の勢力扶殖にのみ没頭しつゝある督軍省長等の實行し得る所に非ず

水利に就ては省長公署内に一局を置き各主要地に分局を設け溝渠の掘鑿に就き年度計畫にて實行し居れり本年度は雁門道の寧武朔州、水陰一帶に於ける河域に土工を起す筈なりと云ふ

●養蠶 養蠶に關しては目下尙進行中にして昨年河東道に本年冀寧道に桑樹の植樹を實施したるのみなりと云ふ從來山西の蠶業は河東道及び冀寧道の南東部に行はれしが本省の絹布は耐久力に乏しきの世評あり外省への賣行微々たるものなりしが前年來浙江、江蘇の蠶種を移入して銳意之が改良を計り昨年五月より太原に資金十萬元の官立蠶業工廠を設置し極力精巧の絹布を製造し以て從來の膠見を打破するに勉めたる結果最近に至り漸く其の販路を天津彰德並びに張家口に擴張するに至れり之を要するに六政の實行は支那に於ては寧ろ異數の成績と稱すべく山西が他省に比し比較的秩序整頓し在るの觀あるは普通教育の振興と相俟て能く上下の人心を一目標に指導せるの結果に外ならず以上の外本年統計處を設置し人口統計を得るの計畫ありと云ふ

□ 教 育 □

●學校教育 學校教育に就ては山西教育計畫進行各案なるものを制定し秩序的に教育の進歩を計り且其の普及に全力を傾注し

つつあり山西全省に於ける各種學校概觀左表の如し

省立各學校 (省經費支辨)

校名	校數	教職員數	學生數
山西大學校	一	五七	九一〇
法政專門學校	一	三四	一五二
商業專門學校	一	四〇	一一二
農業專門學校	一	四一	二四五
師範學校	六	一一九	二、〇六四
内二校は新設にて教職員及學生不明に付内に含まず			
女子師範學校	二	四五	五四一
甲種工業學校	一	一六	一五一
本年より專門學校程度となす筈			
甲種農業學校	二	一九	一七七
中學校	九	一六三	二、一五五
模範小學校	一	二三	三〇二
公立女子小學校	一	一〇	一一五
合計	二六	五六七	六、九三四

縣立各學校 (縣經費支辨)

校名	校數	教職員數	學生數
尋常小學校	一一、五三一	二四、八〇四	三〇八、八七七
高等小學校	二、三三	一、一八二	一二、四〇〇
乙種農業學校	四一	一七〇	一、五五一
乙種工業學校	三	一五	一一〇
乙種商業學校	二六	一〇二	九九一
女子尋常高等小學校	二九	六三	一、五二二
中學校	一一	一〇一	七五九
師範傳習所	四	一三	一五七

右は全省百〇五縣の總計なるが全省を教育上六學區に分ちて管理し居れり

通俗教育の普及

省民一般の常識を高め法律上の知識を普及せしめんが爲め其の
一法として新聞紙を利用せり督軍の機關紙たる山西日報の如きは努めて難解の論文を避け極めて卑近なる文章を使用し或は口語體となし以て成るべく廣く讀ましむるに便す其記事の如きも多くは常識の養成若くは精神的講話の記事等を以て充たされ機關紙外の新聞も務めて難解の記事句章を避けつつあり是督軍の言へるが如く支那人の走せ易き高遠の理想を説くをやめ卑近なる常識の普及に努力する用意と見るべし
由來支那人は法律の觀念に乏し督軍此に見る處あり同日報に毎週一回司法附録なるものを發刊し以て法律に關する知識の養成に努む其の内容は刑法に關する私解を試み或は普通有勝の犯罪行爲を舉て其の是非善惡を論じ若くは其の判決例を掲ぐる等全幅の文字法律思想の涵養に非ざるはなし
督軍の省民に周知せしむる所の八箇條の諭告あり我讀法を模倣せるが如きものにして常に日報の欄外に印刷し或は省城の電柱を利用して一般人民の日常目に觸れ易からしむ電柱には又各種の格言を塗記せり而して是等は文字を知らざる被治者に對し果して幾何の効果あるや否やは疑はしきも亦以て新しき試みたるを失はず八箇條及び格言とは左の如し
一、當兵納稅受教育爲國民之三大義務不可不知
二、身體不壯爲人生之大不幸不可不知
三、尙武爲國民必要之精神不可不知
四、人能有所發明總算眞本領不可不知
五、衛國以武備戰此賊不可不知
六、亡國之民不如喪家之狗不可不知
七、治病要在人未死之前努救國要在國未亡之前努力不可不知

八、軍官能力的軍隊抵不往政治能力的軍隊不可不知民德に付四要として

一、信二、實三、進取四、愛群
立身要言として大則を

一、公道爲社會精神國家元氣故主張公道爲國民之天職

二、桀傲不馴爲野蠻人の特性

三、眞血性男子腦筋中有國家兩字

四、欲自立先從不依頼人起

五、欲自由先從不礙人自由起

六、能忠於職務者纔是眞正愛國

□洗心社

洗心社は軍人にして學者なる督軍署參謀長兼第四混成旅々長趙戴文の率先唱導する所に依て成れる道德的の團體にして標榜する趣旨は存心、養性、明德、新民の四句なるも歐思想の東漸に對抗して堅實なる思想を養成するを目的とし主義としては前記の如く孔教を骨子とするも必ずしも之を唯一の信條となすに非ず新思想と雖堅實なる部分を探り以て提唱するに吝ならず又基督教其の他の宗教と雖も敢て反對するものに非ずと云ふ毎週一回諸名士に依囑して講演會を開く其講題の如きも極めて卑近なるものを選び學界軍界其の他何種の階級を問はず來聽を觀迎す太原に於ける講堂は孔子廟の内に在りて聽衆千四五百名を容るゝに足る目下大に廟の修築中にして支那學の一大權威たる文廟を利用せるは其の用意の周到なるを窺ふに足る商人に對しては毎週水曜日に於て商業道德に關する講演をなしつゝあり又各縣には分社を置き各村落には宣講所を設け居れり要するに山西百七縣約二萬七千の村落に行渡り全省千七百萬の生靈が訓化されつ

つあるは實に一大美舉と稱するに足る

□教育

□國語研究會

北京教育部の發意に成れる讀者統一會の事業を實行するものにして先づ省城に於ける首題の會に於て母字を授け三十九個の字音國語報を發行し修了者中の若干は之を各縣に派遣し全省に普及の計畫にして軍界、教育界、警察界は勿論一般市民に於て教育を終れるもの已に多數に達せり又省長の命にて太原に於ける各商店に各戸必らず三箇の漢字に字毎の振假名を附せるものを揚げしめ日常之に親灸せしめ且つ一面には顧客に對して知不知を反問せしめ知らざる場合は店員より教ゆる方法に 字音普及の一段となす停車場及び市中の要所五六箇所に極要字八百最要字六百應要字四百を五寸大に書いて振假名を附け揭示し居たり店舗の三字は即ち三要字中一字づゝを抜きたるものなり目下本事業を眞面目に實施しつつあるは本省を除けば奉天、浙江の二省のみなりと云ふ

五、童子軍

童子軍は英國の例に倣へるものにして高等小學生を以て之を組織し本年春季其の發會式を舉行せり總司令として馬澤氏隊長として第一師範學校の體操教員耿步瑞其任に當れり童子軍は各種の操練をなし又其の講法とも稱すべき數箇條の綱領を規定す服裝の活動的なるは本邦少年義勇軍に比し多少有利なるべし五月上旬に北京清華學校其他を見學せしめたりと云ふ

□結論

之を要するに本省當局者は所有新知識を採り新思想を注入し新

式教育を振興し以て人知の開發一般常識の養成に努力し而も從來支那人の通弊たる徒らに高遠の學理を求め其の修得の如何は第二に置くが如き虛榮的教育の弊習を打破せんとせざるは注目に價す而して能く大總統令を遵奉するは一の特色と云ふ可く他省よりの見學者常に絶へず最近に派遣されたる河南、山東省の視察員は孰も山西を以て最も教育の進歩せる省なりと報告し居れり從來教育の進歩に關しては湖廣(湖南、湖北)兩江(安徽、江蘇、江西)を第一に推したるも現時に於ては是等兩地方を凌駕しつつあるものと云ふ可し

口農 業

山西の黃土は概して何種の農作にも適するを以て水利と施肥の方法を改良勵行すれば相當の收穫ある可きは勿論なるも如何せん雨量極て少く收穫の良否は一に天候に従屬するのみならず播種期に降雨少き爲農民は神に柳の葉を捧げて雨乞をなす等の情形は春季到る處に演出せらる彼の灌漑の便ある汾水流域に於ける耕地は麥圃たるに反し水を得るに由なき山地、岡阜地は三四寸の小麥實るを待たずして枯死せるが如き情況を比較するに其差宵壤も雷ならず吾人の踏査期間たる四月初乃至五月末に亘る二個月間二三回の降雨ありしも地を潤ほすに足りしは僅に一回に過ぎず而かも農民狂喜して慈雨來を叫び到る處大鼓を打ち銅羅を鳴らし歡呼の聲を擧げつゝあるを見て眞に憐憫の感を深うせり其他吾人は旅行間屢々支那人より溪谷の寒村に於て遙かに山脚を流るゝ溪水を以て山上の瘠土を灌漑する方法を教へむことを懇請せられたることあり以て彼等が如何に水を仰望せるやを察す可きなり山西農業の將來は一に繋て水に在りと云はざる可らず

水利に關しては所謂山西六政の一にして到る處盛に植樹を獎勵し又平地地方に在りては縱横に溝渠を穿ち以て灌漑に便し且氾濫に備へつゝあり又平地に於ける村落附近には多數の井あり驢又は人力を使用して野菜畑に間斷なく水を送る
農産物の主要なるものは支那各地と大差なく小麥、大麥、大豆玉蜀、高粱、稗、黍、粟、燕麥等にして其内粟を直隸、河南方面に移出し小麥を移入す高粱少なきを以て土民の主食は粟ならん野菜類には白菜、芹菜、山菜、芥菜、萵蒜、蓮根、山芋、午莠、馬鈴薯、蘿蔔、胡瓜、南瓜、甜瓜等多數の種類あり其他織布原料として棉花、麻及び少量の絹あり
果物には葡萄、柿、梨、李、杏、石榴等豊富なり
煙草は附近に産す

口工 業

工業は尙原始時代を距ること遠からずして頗る幼稚たるを免かれず由來山西は其住民の主食たる小麥の供給に於てすら自足するを得ず自然の原則として先づ農業の振興を圖らざる可からず山西が茲に著眼せしは最近のことに屬す即ち山西督軍の智囊と稱せらるゝ崔廷猷氏に依て献策せられしは僅かに二年前の事に屬し今や僅かに其曙光を認むる識者の顧みる處とならざるは自然の數のみ
本年及び明年我國に送る可き多數の商工業學生の卒業歸國期に至らば山西省に新式工業鬱然として勃興す可く従つて資本金を要し器具機械を要するに至る可きは言を俟たず現今と雖山西の對日感情は比較的良好にして日本製の工業機械の輸入せられたるを見る吾人は將來山西新式工業開始期に際し邦人が其好機を逸せざらむことを祈らざるを得ず

□牧畜業附羊毛皮

畜産は農家の副業として古來盛なり而して風土氣候の畜産に適する爲(就中羊毛羊皮は)年々海外に多額の輸出をなし省民の經濟上に直接間接の恩恵を與へつつあり民國以來蒙古地を歸綏及び察哈爾の管區を編入せられし爲毛皮産額の大部を減するに至りしも尙且年々増加する需要に應じ原料の買收意の如く多々益々辨するの情態なりと云ふ要するに山西毛皮の將來は有望なりと云ふ可し

羊毛 山西羊は粗毛種なるも直隸、山東及び東部蒙古のものに比し優秀にして支那種中には上位に在りと稱せらるる正太鐵道に依り天津方面に移出せらるる毛皮は陝西甘肅の北部の歸化城方面に中部以南の潼關方面より京漢鐵道に出て漢口方面に送らるるものを除き其中間の地域に於るものは總て山西を通過す山西省内に於ける毛皮の集散地は交城縣なり交城は人口一萬にして毛皮問屋多く職工約二千人にして山西東部の毛皮と雖一度此地を經過するもの多し生皮は多くは干皮として移出せらるる毛皮の買收は多年英商禮和洋行及び獨商平和洋行の勢力範圍たりしも歐戰開始と共に本省羊毛は全然英人の掌握に歸せり毛皮の大部はボストン、ニウヨーク等の工場に輸送せられ毛は織物に皮はキット皮として靴となる最近省當局者に依りて羊毛の改良を計畫せられ牧場を朔、安澤(舊名岳陽)並びに省城西門外(省城のものは本年開設の筈)に設け外人顧問を聘する豫定にして已に輸入せし「メリノ」種千五百頭に達せり

牛馬驢驘に關しては之を略す唯牛は黃牛多く主として洪洞平陽以南地方に多く年々河南に移出せらるゝも五萬噸を下らずと云ふ河南の牛は亦山東に移動すと云ふ

□要號と資金家

省城太原府の西南部なる太谷、祁、平遙、介休、汾陽等の諸縣は謂ゆる山西資本家の淵藪にして彼等財團は票號又は票莊と唱へ爲替兩換及び貸金預金業即ち今の銀行業務を清朝初期より開始し二百七十年の間全國要地に店舗を置き殆ど支那財界の關鍵を掌握したり此等財團の大なるもの十七組あり就中著名なるは百川通、日昇昌、協同慶、合盛元、蔚泰厚等にして概ね本店を平遙に置き北京、天津、漢口、上海を首めとし各省城開港地及び重要都市並びに日本南洋歐米等に支店を設け四川の寶豐隆雲南の天順祥等と共に清末迄支那經濟界を支配したり實に百川通のみを以てするも資金五百萬兩を算し四十二箇所に支店を有し預金常に四千萬兩を下らず加之一部官金の取扱を兼ね官憲の保護を受け與望と信用深く人、呼んで西幫票號(山西組の爲替店)とし商業界の重鎮をなし各地に活動せり然るに是等各號は義和團事變以來清末の革命に逢著し脅迫掠奪取付を受け莫大の損害を蒙り再び立つべからざるに至り今や僅平遙の天成亨、太谷の協成乾祁縣の大德通、三晉源の數家に過ぎず而して現今の資本家は當省官紳の慫慂各省豪商の勧誘に對しても全く耳を借す者なく清朝十代支那經濟界の精華と謳はれし山西財團は今や全く没落の狀況にあり尙山西富豪の人規模商工業に出資せざる原因を探究するに嘗て清末山西巡撫たりし胡聘之の勧誘に依り絳州に株式百萬兩の織布工廠を設立したるも計畫の粗漫と經營其の人を得ざりし爲全然失敗に歸したると最近唯一の保晉公司さへ官憲の威力にて資金の大半を流用され歐戰中鐵、石炭騰貴の好機に於ても僅かに昨年度に七萬元の利益を見たるに止まり創立以來未配當なる等の前例後鑑は財産家をして投資を危險視せしめたる

に因るものゝ如く省議會會長崔氏も彼等の保守的短見と儉安的陋習を打破する爲氏經營の保晋公司將來の發展を計り模範を垂れ其の覺醒を促すべしと告白せり
山西に於ける衰退せる目下の經濟界も將來官紳先覺者の指導に依り遠からず勃興するに至らん

△山西省重要物產輸出數量表 (其一)

種別 一箇年數量

羊 毛 一、五〇〇、〇〇〇斤

北部山西のものは張家口を経て天津へ交城より榆次を経て正太鐵道により天津へ潞安より順德、邯鄲、彰德へ新絳より南部へ

羊 皮 四、九〇〇、〇〇〇枚

同 右

牛 其他の獸皮 一、六〇〇、〇〇〇枚

同 右

牛馬其他獸骨 二、〇〇〇噸

主として榆次より正太鐵道による

△山西省重要物產輸出數量表 (其二)

種別 一箇年數量

棉 花 二、〇〇〇、〇〇〇斤

南部のものは黃河を経て鄭州に至り漢口方面へ洪同附近のものは榆次其他より石家莊等へ

麻 四、〇〇〇、〇〇〇斤

天津方面へ陝西及蒙古へ

葉 煙 草 二、〇〇〇、〇〇〇斤

阿河流域の産にして蔭蒙口より歸化城より蒙古へ又一部は陝西へ

麥 稈 眞 田 一、五〇〇、〇〇〇斤

潞安平野の産にして天津へ

粟 一〇〇、〇〇〇噸

主として天津へ一部は順德、邯鄲、彰德へ

麥 豆 三、〇〇〇噸

主として榆次より

榮 種 二五、〇〇〇噸

北部より張家口を経て天津へ

亞 麻 三〇、〇〇〇噸

同 右

藥 材 五〇〇、〇〇〇元

主として潞安間屋手にて

△山西省重要物產輸入數量表 (其三)

種別 一箇年數量

石 炭 五〇〇、〇〇〇噸

鐵 二〇〇、〇〇〇噸

内五萬は省内消費

軍用品 黃 四五、〇〇〇、〇〇〇斤

硝 石 七〇〇、〇〇〇斤

太原附近産、官業

△山西省重要貨物輸入數量表

種別 一箇年數量

綿 布 四〇〇、〇〇〇俵

一俵二〇疋 綿 絲 六〇、〇〇〇俵

一俵三三〇斤入四〇包

上 布 四、〇〇〇、〇〇〇疋

高陽及大名産支那木綿とす

石 油 二〇〇、〇〇〇箱

砂 糖 三〇〇、〇〇〇俵

卷 煙 草 七、〇〇〇、〇〇〇元

(約七萬箱)

茶 五〇〇、〇〇〇籠

(二籠八〇斤入)

黃 燐 寸

一〇、〇〇〇箱

(一箱二四〇袋入)本省内に製造會社二、三あり

雜 貨

一〇、〇〇〇噸

支那南紙、舶來品、爆竹其他の零碎品

貿易

青島貿易近況 (七月)

本月中埠頭輸出入貨物の數量を見るに其陸揚(輸入)は二萬四千三百三十二噸九にして船積(輸出)は六萬五千六百六十九噸六を示し前月に比すれば輸入に於て九千百二十六噸六輸出に於て二萬八百九十噸四の減退を示せり

	六 月 中	七 月 中	比 較
陸 揚 貨 物	三三、四五九・五	二四、三三二・九	九、一二六・六
船 積 貨 物	八六、五六〇・〇	六五、六六九・六	二〇、八九〇・四

更に之を昨年同月分と比較するに輸入貨に在りては三千七百三十三噸九を減せるも輸出貨に在りては二萬五千十五噸八の増加を見たり

主要輸出入貨物情勢 (七月)

輸入貨物中昨年同期と比較し著しき減退を示せるは砂糖、燐寸、燐寸材料、綿糸の數種にして増加せるは麥粉(上海)卷煙草麻袋、綿布、木材等なりとす排日の風潮奥地に瀰蔓し氣勢頓に

揚るにつれ先其打撃を蒙りたるは輸入貨にして濟南を中心として旺んに日貨抵制を高唱し閑然する處無き壓迫を加へられたる綿糸布、燐寸の如き輸入品は漸次萎縮するに至りたるも麥粉、卷煙草(支那品及英米品)綿布(支那品)等は却而増加を示し又木材は日本人を顧客とせる爲建築界の旺盛と共に非常の増加を示し居れり輸入貨物が日貨排斥の爲斯如悲惨の狀態に陥れるに反し輸出貨は自國土產物保護の名目の下に左迄の壓迫を加ふること無かりしとは云へ重要輸出品たる小麥、花生實、同油、豆油の如きは諸種の迫害を受け一時取引困難に陥り前月に比すれば目立ちたる減退を示すに至りたるが若し此事無かりせば尙幾分の活氣を呈せしや明なり別表によれば博山炭及牛肉を除くの外は何品によらず昨年比し著しき増加を語るものにして當港に於ける輸出貨は年を逐ふて驚く可き發展を遂げつゝあるは想見するに難からず

△輸入品

品 目	六 月 中	七 月 中	昨年と本年との比較
米	六七	五三三	三八九
麥	五三九	一、三四三〇	八八七
白 砂 糖	八六六	五七六	二七三
赤 砂 糖	三七二	二六八	一〇七〇
卷 煙 草	五六一	一、三三七	六四五
石 油	二、九三四	一	七四六
燐 寸 材 料	四、五七	一、四一四	三一九
燐 寸 布	一〇、五七	八九二	三九六
綿 糸	一、四八七	一、三六六	一、八〇五
綿 布	七九八	七七八	一、五二九
麻 袋	三七三	三八九	五〇〇
木 材	八、八四二	三、〇五三	九四五

△輸出品

花生實	六、五九三	二八三四四	一七九八〇	一〇三四六
小麥	三、三三〇	二、五五〇	—	二、五五〇
牛肉	三、四二一	九、五一一	一、六九九	七、四八
鹽	二〇、九六〇	一五、三三〇	六、四〇〇	八、〇五〇
葉煙草	二、四〇四九	二、三七八八	一、四三八	九、六六〇
花生油	八、六二五九	四、〇六六八	九、四二四	三、三四四
豆油	三、四四三五	二、九四五六	六、〇〇〇	二、二五六
溜川炭	八、五〇〇〇	八、五〇〇一	五、四〇〇〇	三、〇〇〇一
博山炭	三、八二八六	五、九〇五三	三、七四六	六、六九三
桐材	八、三三一	七、六七一	一、四八〇	六、二二三
麥稈	三、四六三	九、二一〇	七、〇九〇	八、五〇一
豆粕	二、一三四七	六、六五五	二、八〇〇	六、六三七
鐵鑛	七、四六〇	八、六〇〇〇	—	八、六〇〇〇
綿絲	一、〇六五七	一、九二一六	一、三二一〇	一、七〇五

八月民船貿易

八月中の民船貿易を見るに夏期閑散時期の事とて頗る不振を極め殊に移出品の如きは排日貨の影響を受けて一般に減退し、艀二十三萬一千個梨九千三百三十九擔豆油千八百八十五擔を示せる外他は殆んど休止の状態にあり移入貨に在りては小麥、花生油、鮮蛋、豆粕等の日本向輸出品は概ね好況を持続し木材、麵粉、雜豆等も相當の移入を呼び前月と比すれば稍好況を呈するに至れり

△移入品

品目	數量
小麥	三八、〇九五 擔
雜豆	九、三二八 擔
雜豆	九、七七八 擔

△移出品

豆餅	三、二八三 擔
鮮蛋	一、〇八五千個
麵粉	八、二三七 擔
花生油	二、二〇四 擔
輕木料	六八、一六六立方呎
鉈帽	二、三一千個
梨油	九、一三九 擔
豆油	一、八八五 擔
石炭	二、二〇〇 噸
陶器	一、二七 擔
鍋	一、六三 擔

海運及鐵道

青島最近出入船舶 (七月)

本月中の入港船舶(汽船)は百九隻此登簿噸數七萬八千二百六十四噸出港百十二隻八萬一千六百二十六噸にして入港卸荷二萬四千三百三十二噸九出港積荷六萬五千六百六十九噸六を示せり而して之を一月以降の累計に徴するに入港七百七十四隻六十三萬五千八百八十三噸、出港七百七十七隻六十三萬八千二百五十九噸卸荷二十一萬八千三百六十噸二積荷四十七萬三千七百八十九噸八に達せり之を昨年七月分と對比すれば左の如し

入港	本年七月	昨年七月	比較
入港	二〇元	六、三三四噸	六、三三四噸
出港	二、三	八、六六六噸	八、六六六噸
卸荷	二、四、三三九	二、八〇六八噸	二、八〇六八噸
積荷	五、六六六六	四、六五三八噸	四、六五三八噸

更に入港船舶の仕出地別を示せば日本内地三十二隻大連十五隻上海二十三隻天津一隻其他の支那港三十二隻臺灣一隻仁川三隻香港二隻にして出港船舶の仕向地は日本内地二十五大連十四上海二十二天津二其他の支那港三十八釜山三仁川六香港一マニラ一なりとす

近海運賃軟弱

外國航路の船腹不足の爲め從來近海に運用したる中型船を遠洋に振向けたるより若濱の如き殆んど木造船の復活を見るに至り五圓二十錢と弱味を見せ居るに反し北海道は石炭及木材の出荷激増したるに引換へ船腹不足を告げ荷役力減退したる關係上八圓二十錢に騰貴し大連方面は虎疫の爲就航船減少し大連濱豆粕六十三錢を維持し居れるが是等の剩餘船腹は北海其他に回航し従て北見兵阪角材三百八十圓乃至四百圓釧路兵阪同三百圓見當に下押せるも運炭は略保合にて室濱六圓半門司濱五圓二三十錢見當を上下し居れり

生駒丸	角材	一一、〇〇〇石	四三、五〇〇、〇〇	北見—濱阪
平野丸	豆粕	三〇、〇〇〇擔	〇、八八	營口—濱
老松丸	鹽	一、三五〇噸	一〇、〇〇	青島—清津
北京丸	石炭	三、八〇〇同	八、五〇	若松—香港
泰昌丸	同	二、〇〇〇同	五、〇〇	唐津—浦鹽
會通丸	同	六、〇〇〇同	四、三〇	若松—伊勢
福利丸	同	七五〇同	三、五〇	唐津—上海
天利丸	木材	二、〇〇〇石	一三、〇〇〇、〇〇	北見—濱

歐航運賃低落

八月に入りてより一般海運界殊に傭船料は下押の傾向を示し

歐洲向運賃の如きも爪哇、馬耳塞十三磅、新嘉坡、馬耳塞十二磅にして何れも最近に至り約一磅の下落を見るに至りたるが右は一時六十萬噸に近き船腹を歐洲航路に集中したる爲滿腹の姿となれるが故にして戰時中船主が荷主の要求するが如き運賃には同意するを得ず餘儀なく荷主より一定の保證金を徴し特別條件の下に便宜極東復航同盟船外の積荷を引受くる方法を講じ來りしものが戰後となりては同盟船も或程度迄復活し幾分荷主の要求を容る、餘裕を認むるに至り之が爲從來の荷主に對する條件を徹廢し同盟船以外には積荷せざる方針に出でたるより非同盟船に於ては今後の活躍上何等かの方策を講せざるべからず是等の關係上運賃の下落を見るに至りしならん

濠航運賃値上

濠洲航路は曩に太平洋運の同盟加入の意嚮あり郵船商船二社は全體に於て加入を承認する事とし更に東濠汽船に向つて交渉する處あり今回愈加入決定を見るに至りたるにより數日前決定したる往航新運賃九月三十五志を更に四十志に値上し十月より五十志となす事に決定したりと

大西洋航路悲觀

休戰以來大西洋航路は米國より歐洲各國への出貨激増の爲め頗る殷賑を極め運賃も亦漸次昂騰して三十弗以上を唱ふる迄に好調を呈せる結果本邦船にして此方面に配船せるもの自然増加し大阪商船、三井船舶部、鈴木商店、太平洋運の各社は競うて大西洋航路に船舶を集中し且つ曩に歐羅巴返船を條件とせるもの、多くは解傭後何れも該方面に就航せられつゝありしが其後

歐米各地に同盟罷業蔓延し貨物の積卸其他に非常の日子を要し採算不利の状態に陥りたるを以て大阪商船は早くも該航路の不利を見越して配船を打切り鈴木商店も亦運賃二十六弗唱へに低落せると共に廻航を廢するに決したるが最近更に大西洋運賃激落の報あり三井船舶部の如きは就航船の多きだけ非常に狼狽し極力精査の歩を進め居れる模様なり此報果して事實なるに於ては各會社共此上の採算不利に堪へ得べからざるを以て運賃の相當有利に引上げられ且罷業の緩和を見るに至るまでは本邦船の該航路は自然廢絶の止むなきに陥るべしと憂慮する向ありと

青島内地航値上説

近海航路運賃は二三月前より漸次持直したる結果青島内地航路臨時船運賃は定期船に比し一時三四割方安唱へなりしもの今日にては臨時船の方却つて一二割高となり而も出貨相當輻輳せるに其出入著しく減退せる爲め輸出賃は常に停滯し居れる狀況に鑑み定期船三社は申合せの上近く値上斷行の風説あり遠からず實現せらるべしと

三驛發著主要貨物情勢 (八月中)

本月中三驛(青島、大港、埠頭)發著主要貨物を昨年同期と比較對照するに發送貨物中綿絲布は依然排日の繼續により最大消化市場たる濟南との取引全く絶望となり唯僅かに高密、博山地方に向つて積出されたるに過ぎず激減の度諸品に冠たり砂糖は前月來相場暴騰の影響を受け支那商は先安を見越して一齊買控へ市況沈衰更に取引行はれず燐寸は本月に入りてより濟南市況好化し弗々荷動きあり沿線各地方も極度の品薄に困しみ居る際と

て一齊買氣を催し來れるもの、如く麻袋も亦需要時期に入りたる事とて相當荷動きありたるも昨年比すれば尙二十六噸九の減退を示せり増加せるものにおいて木材の百九十三噸紙卷煙草の三十噸三石炭の八百二十二噸二燐寸七十五噸八に過ぎず、更に到著貨物に就て見るに花生實、花生油、棉花、繭の如き主要品は端境期に入りたる事とて一體に到著數量を減少せるが就中江蘇米の著荷は排日の影響と產地禁輸とにより昨年の十分の一に減退し木材は燐寸材料たる白楊樹の搬出意の如く爲らず當地工場所用材は内地樺木に據る事となりたるを以て殆んど中止の狀態となり獨り小麥、石炭、牛の到著著しく増加せるを見る石炭の増加は淄川出炭の復舊と共にコークスの減退と反比例を示し小麥は濟南市場幾分排日の緩和と共に商況の活潑となりたるによる

△發送品 (單位噸) ○△増、△△減

品目	七月中	八月中	昨年八月中	比較
木材	四五八・五	六四二・六	四四九・六	○ 一九三・〇
綿布	八・四	二・〇	三四五・八	△ 三四三・八
綿絲	九二・七	七三・九	七三八・五	△ 六六四・六
石油	一、二三五・六	一、〇一七・四	一、〇一四・六	○ 二・八
砂糖	二九七・四	四一・七	二、五二一・五	△ 二、四七九・八
燐寸	九一・七	三七四・六	二九八・〇	○ 七五・八
燐寸材料	四一・〇	二九・二	一一七・九	△ 八八・七
紙卷煙草	三二一・三	一九〇・一	一五九・八	○ 三〇・三
石炭	八八五・〇	八二二・二	一	○ 八二二・二
麻袋	七・四	六七・一	九四・〇	△ 二六・九
△到著品				
米	一・八	七三・〇	七五一・九	△ 六七八・九
綿絲	一五五・三	二〇二・一	四三・四	○ 一五四・七

石炭	七、二一四・二	九、八九八・一	六、〇四五・四	〇三、八五二・七
コークス	一、三五〇・一	五五五・〇	三、三六四・九	△二、八〇九・九
石灰	一、四四六・九	一、二〇二・〇	六五九・〇	〇 五四三・〇
桐材	二五三・四	四〇九・〇	五六〇・〇	〇 一五一・〇
木材	一〇三・三	九七・七	一三三・〇	△ 一二三・三
小麥	二、〇六五・三	六、四五五・四	二、三八二・五	〇四、〇七二・九
花生實	一〇・九	—	—	—
花生油	五五三・六	三〇三・九	一〇五・四	〇 一九八・五
豆油	一、三八三・一	五五三・四	五四一・五	〇 一一九
棉花	一〇七・二	一八三・七	二二六・五	△ 四二・八
蘭	二二・二	二七・〇	二〇八・〇	△ 一八一・〇
牛	二、二一八頭	二、六九八頭	五八一頭	〇二、一二七頭

濟南驛取扱貨物 (七月中)

七月中に於ける濟南驛取扱貨物は商學聯合會の排日貨鼓吹の影響を受けたると一方夏季閑散時期に入りたる爲め何れも減退せるが今其主なる發送貨物に就て見るに小麥二千三百八十五噸桐材二百五十四噸生牛千九百七十一頭を始として其他鐵製品、玉子、牛骨、燐寸、生米、麥粉、大豆、西瓜、雜貨等合計三百九十九噸あり到著貨物としては博山、淄川炭五千七百八十二噸コークス九百七噸砂糖二百六噸石油五百八十噸魚類百十九噸木材九十五噸雜貨九十三噸煙草二百九十一噸其他煉瓦、燐寸、同材料硝子器、石材、鐵製品、古鐵、支那紙、ビール、麻袋、麥稈真田、曹達、染料等合計五百二十八噸を算せり

伊支郵船會社設立計畫

此程上海總商會は北京農商部第八七〇號訓令文に接したり、這是伊支郵船會社創設に關する事項にして、該案は伊國政府の提倡に係り、駐伊支那公使王廣圻氏より報告し來りし者なり、今該部訓令の云ふ所に據れば、即ち伊國航業者は伊支那間貿易を發展する見地より支伊郵船會社を創設する計畫あり、而も其基本金を五千萬ロールと定め、十萬株に分ち支商にて一千株を負擔せんことを希望せり、且つ支那政府に向て此舉を贊助し優遇を與へられんことを懇請せり、該計畫書に據れば本店を伊國に設け支店を上海に置くにあり、伊商側は已に整備して且つ借船隻三艘ありて何時にても航行し得る手筈なり、又該會社は本年三月三十日に於て左の如き優待條件を享有して萬損失の虞なしと稱せらる

(甲) 現在の購船價が二年後の船價と相違する時は其差額は伊政府之を償還すべし

(乙) 四年間監督の下に置く但し該船を征役するを得ず

(丙) 十年間免稅す

(丁) 會社自ら營業を行へば第一の兩年内に在て政府は甲款所載の乙預定額の六分の二を交付すべし

(戊) 會社が其船隻を政府に租借する場合政府は資本金利息八釐を給付し且つ所有費用を負擔する外に毎月一噸に付半ロール乃至一ロール半を給與すべし

農商部も此舉に對し頗る賛意を表し當商會をして之が計畫に參加すべき様勸導せるもの、如し

青島港出入汽船細別表 (七月中)

(空船ヲ除ク)

△入 港 ノ 部

入 港 月 日	國 籍	船 名	登 簿 噸 數	揚 荷 噸 數	揚 荷 主 要 貨 物 名	本 出 地
六月二十三日	支那	得利號	三二九・〇	五〇〇・〇	木材	安東縣
同 二十八日	日本	小川丸	三七九・〇	六四一・六	藥品、燐寸材料、機械箱材、金屬品、食料雜貨	大阪
同	英國	廣西號	一二二八・〇	九四二・九	麥粉、茶、砂糖、卷煙草、支那紙、金屬品其ノ他	上海
同	日本	第一新榮丸	一、五三一・〇	四三八・〇	石炭	若松
七月二日	同	第二長崎丸	三四六・〇	六八四・八	卷煙草、燐寸材料、箱材、食料品雜貨	大阪
同	同	楠丸	一、三四五・〇	一九八・八	棉花、洋紙其ノ他	上海
同	同	神戶丸	一、五三六・〇	一二五・六	棉花、綿布其ノ他	大連
同	同	第十六共同丸	九一七・〇	三八・二	硝子品、木炭其ノ他	同
同 三日	同	龍平丸	四三一・〇	二五・六	醬油、塗染料其ノ他	同
同	支那	新飛雲號	七一・〇	三六・二	麥粉、食料品、石油空罐	海州
同	日本	室蘭丸	一七五・〇	八〇・二	石炭其ノ他	長崎
同 四日	同	三國丸	五七三・〇	二三三・二	蠟燭、金屬品、石油空罐	上海
同	同	益進丸	五五八・〇	三一六・七	綿絲其ノ他	同
同 五日	同	基隆丸	九六二・〇	一二五・六	茶、硝子製品、砂糖	基隆
同	同	海州丸	七五・〇	三九・八	穀類、食料品	海州
同 六日	同	薩摩丸	一、二二二・〇	三五四・八	綿絲布、鐵硝子品、食料雜貨	大阪
同 七日	英國	鎮安號	一、三三五・〇	八七六・四	麥粉、茶、卷煙草、綿絲布、支那紙、食料品	上海
同 八日	日本	新湊丸	四三七・〇	七四一・三	砂糖、燐寸、麻袋、燐寸材料、箱材、食料雜貨	神戶
同 九日	同	熊野丸	四九三・〇	三一九・三	綿絲、藥品、金屬品	上海
同	同	楠丸	一、三四五・〇	一三・〇	金屬品其ノ他	同
同	同	龍平丸	四三一・〇	五二・九	味噌、醬油、硝子品、金屬品、食料品其ノ他	大連
同 十日	同	第二十霧島丸	六三三・〇	六九五・四	石炭、ヒメント、木材、石油空罐、箱材	門司
同 十一日	同	益進丸	五五八・〇	一三五・〇	綿絲	上海
同 十一日	同	西京丸	一、五一・〇	六四九・四	綿絲布、箱材、陶磁器、金屬品、食料雜貨	大阪
同	同	第十一共同丸	七〇五・〇	一二〇・六	米、卷煙草、硝子製品其ノ他	仁川

[illegible]

[illegible]

△出港ノ部

出港月日	國籍	船名	登簿噸數	積荷噸數	積荷主貨物名
六月二十六日 七月一日	日本 英國	辨天丸 廣西號	二、六一・二〇 一、二二八・〇〇	四、五〇〇・〇 一九二・二	石炭 果實、棉布、麥稈眞田、硝子品
同	日本	大信丸	一、三七七・〇	二、〇四七・三	生牛、花生實、花生油、豆油、豆粕、綿絲繭
同	同	帝海丸	七五七・〇	一、八五〇・四	小麥、鹽、桐材、豆粕
同	同	神戶丸	七二三・〇	一、五七〇・〇	石炭
同	同	第十六共同丸	二、五三六・〇	三七七	卵製品、綿布
同	同	櫛丸	九一七・〇	四六〇・一	生牛、花生實、穀類、卷煙草、硝子製品
同	同	第二長崎丸	一、三四五・〇	一三八・七	麥酒、綿絲
同	同	千年川丸	三四六・〇	五〇・〇	船用石炭
同	同	益進丸	五六七・〇	一、〇〇〇・〇	鹽
同	同	龍平丸	五五八・〇 四三一・〇	五五六・五 二六四・六	卵製品、石炭 砂糖、麥酒、綿絲其ノ他

[illegible]

[illegible]

同三十日	英國	鎮安號	一、三三五・〇	三二二・二	果實、海產物其ノ他	上海
同	日本	神戶丸	一、五三六・〇	一一・一	卵製品	同
同		神丸	一、三四五・〇	一三〇・二	麥酒、綿絲、燐寸	大連
同三十一日		第七原田丸	八六二・〇	一、四五八・八	小麥、穀類、花生油、豆油、蘭桐材	神戶
同		小豆島丸	二五一・〇	八八四・〇	石炭	大阪

銀塊並に爲替相場 (八月中)

△銀塊 倫敦に於ける相場は常に印度大陸支那の需要絶へざるに米國筋賣惜の爲め日々昇進し五十五片十六分の九より六十一片四分の一迄進みたり月末に至り米國賣進みたるを以て一時に直物三片下落し五十八片を示したり此く相場の騰貴せるは一は英米間爲替相場下落に歸因すと云ふ本月中直物は常に先物より一片半内外の高値を唱ふるは如何に其需要の切實なるかを示して餘ありと云ふべし而して本月中上海に到著したる銀塊は既に數百萬兩の巨額に達したるも總て地方に吸收され内地は依然兩銀の不足を感じたり

△爲替相場 支那各地輸出依然として多き爲め相場は昂進の一方にして前項述べたるが如く續々上海に銀塊到著せるにも拘らず尙兩銀の不足を訴ふるを以て相場の如何に拘らず賣進むものあり爲めに一層其勢を助長したり又英米間相場の下落は英米向相場を昇進せしめたり此の如き情態なるを以て上海に於ける香上銀行建相場より實際取引相場は二片四分の三高きことありたり當月初日本向電信爲替百七十五圓に始まり昇進の一方にて終に百八十三圓に達し其後稍引緩みたるも再び昇進し百八十一圓にて月を終りたり

△金融 上海の金融逼迫せるを以て各地又其轍を同くしたり然れ共既に輸出時將に終らんとすると排日の爲め非常の困難を感じるることなかりき上海向五日目拂手形相場は最低九百四十二三兩最高九百四十七兩内外を唱へたり

主要貿易品概況 (八月)

◎綿糸布

△綿糸 排日緩和の傾向あるも未だ農繁期を經過せざる爲め與地筋買氣無く僅かに李村、即墨方面の小口需要を充すに過ぎざりき阪地市況は引續き好況なるも何等の影響を與ふるなく市況頗る閑散なり、月始頃天津相場に對し當地相場は比較的格安なりし爲同市場より買進み相當移出ありたるも再び排日氣勢昂まりたる爲市況惡化し引合來らず不振裡に經過せり

△綿布 綿糸同様頗る不振閑散の裡に月を終れり

綿	糸	布	同	日	二十日	三十日
粗布九龍	紅月	天竺太鼓	同		一八八・〇	一八八・〇
銀月	月	菊	同		一七八・〇	一七九・〇
	(同)				一七九・〇	一七九・五
					一七九・〇	一八〇・五
					六二二・〇	六二二・五
					三六五	三六五
					三二五	三二五
					三二五	三二五

◎砂 糖

前月來不振の後を受けて本月の商況は益沈衰し日本、香港兩糖共殆んど手合行はれず支那商等は先安を見越し買控の態度にて落付居り大閑散なりき

◎燐 寸

排日勃發以來根強く燐寸の不買を繼續し來れる奧地一體は極度の品不足に陥り日用にさへ差支ゆる程の窮乏を告げ濟南燐寸三光印の如き銀五十圓といふ突飛の高値を現はすに至りたる一方日貨排斥も表面だけ稍緩和の兆現はれ來りたれば利に曉き支那商は本月始頃より青島市場に向つて僅かに實需を満すだけの買付を爲せるが外に取立て、云ふべき程の手合行はれず依然不況を續けつゝあり爲に當地製品の滯貨約七千噸に達し輸入は全然杜絶するに至りたるも何時市場の回復を見るやも計り難き狀態にて只管局面の展開にのみ注意し居れり相場は月末三十七圓五十錢見當を保合へり

◎麻 袋

既に小麥の出廻り時期も接近せる事とて麻袋の輸入は著しく増加し本月始頃沖著六十五圓見當の高値入荷を見たるも月末六十一圓と下押稍目先の軟弱を示せる爲め一般先安を見越し買控の態度を採るに至れり然れど既に需要期に入れる事なれば左したる變化無く益輸入の旺盛を見るに至るべしと觀測せらる

◎米

内地期米の暴騰に伴れ朝鮮も本年の旱魃不作を見越して產地頗る強調茲著一呎十七圓見當を唱へ滿洲米も十五圓三十錢と前月に比し八十錢高を示し居れる爲當地の需要は依然江蘇米に集

注され毎月尠なからざる賣行を示し居れるも目下青島に在る同米は全部多少の臭氣を有せざる無く飯米として殆んど食用に堪へざるを以て多くは鮮米或は滿洲米を混和使用しつゝあるの實情にて上流階級に在りては昨今鮮米及び滿洲米の需要漸く旺んなるに至れり江蘇新米出廻期迄は此狀態を繼續すべしと觀測せらる月末相場左の如し

朝鮮米	赤	一呎	一七、二〇
青	同	同	一六、八四
滿洲米	上等品	一呎	一四、五〇
並	同	同	一三、五〇
江蘇米	並	一袋	二五、〇〇

◎紙卷煙草

排日以來東亞煙草の販路が南洋煙草の爲に著しく縮少せられ僅かに青島に於てのみ需要を繼ぎつゝあるは既報の如くにして其瀾蔓に伴れ漸次賣行減少し青島在住の支那人さへ南洋、英米の製品を喜ぶの傾向を生ずるに至れり而して青島に於ける日本人の嗜好は昨今兩切より口付に移り來りたるものゝ如く敷島、朝日等の賣行旺盛を極め著荷と同時に全部出拂の盛況を持續せるが昨今原料煙草の騰貴と職工賃銀の昂騰竝に銀高等の事情は會社をして過般各品を通じて二割乃至三割の値上を斷行するに至らしめたるが其主なるものに就て見るに敷島一包一圓八十錢より二圓三十錢に朝日同一圓四十錢より一圓七十三錢にスピア一包二圓六十五錢より三圓之を英米の同級品紐育一包銀一圓八十錢南洋の双喜一包銀二圓二十五錢に比し未だ幾分低廉なるを以て排日狀況の緩和と共に相當歡迎せらるに至るべし

◎木 材

北海材は產地出水の爲製材上多大の支障を生じ注文品の到著甚だしく遅延せる爲め各材木店共小割類は極度の品不足に陥りたれば需要者は殆んど奪合の姿にて勢ひ相場の上向を誘致するに至りしが村井、中熊兩材木店の注文に係る小割類約三千五百石は最近井呂丸にて到著の運となり濱恒秋田も同様來月中頃迄には夫々著荷を見漸次在荷の潤澤を告ぐるに至るべし然るに過般近海運賃の引締と共に漸次高率となり北見、青島百石四百五十圓見當を唱へ六月頃の低値に比すれば二倍強の高値なる上產地相場も引續き強調を呈し居れば今次の著荷と同時に幾分の値上げを見るに至るべし、目下市中在荷小割約二千五百石大角約一萬二千石見當なるも小割類中賣口よき板、柱、木摺等は何れも品切れの狀況に在りといふ

◎花 生 實

本年の新實出廻期も漸く接近せる折柄旱魃に對する山東一帶の不作歐米の需要氣構等にて相場は案外強調を現はし上旬頃九弗見當にて先物初手合を見るに至れり

◎花 生 油

戰後歐米諸國は生活費の騰貴に對し一般不安の念に襲はれつゝあるを以て食料品騰貴に對する英米政府の態度漸次強硬となり英政府は先精製油に對し時價より十五乃至二十志の低値にて八月一日より公定相場を實施するに至りしかば内地市場も大に警戒し油類は遽かに下押六日神戸シフ五十五圓五十錢見當にて約千四百箱の手合を見たるまゝ旬末五十圓迄落込み中旬下旬共更に手合行はれず低値を保合ひつゝ本月を終れり本年新油に對

する手合も弗々行はれつゝあるが月始頃十一、十二月渡二十弗見當にて成約せりと

◎豆 油

花生油同様歐米警戒の入報に脅かされ月始シフ神戸三十六圓二十錢(二日)原油籠十二弗五十錢と落込み此邊にて約七千箱位の手合行はれしが旬末呼値三十二圓見當に暴落せるも買手無く籠油は月末十三弗五十錢と持直したるも殆んど手合行はれず不況裏に本月を終れり

◎棉 花

奧地棉產地方旱魃の爲減收氣構にて相場は強保合の姿なりしが青島筋及上海方面より紡績原棉手當として新棉の買氣を誘ひ十、十一、十二月物銀四十弗見當にて約一萬五千俵程の手合出來たるが其後奧地田舍客の去りたる爲市況頗る閑散を告ぐるに至れり目下濟南市場に於ける古棉在荷は例年に比すれば著しく寡少にして月末僅かに一千俵に過ぎず月を超わなば在荷涸渴するに至るべしと豫想せらる相場は四十一弗見當を唱へ居れり

◎石 炭

日本市場に在りては一等炭は勿論二等炭に至る迄漸次活氣付き來りたるも當市場としては過般來帆船安運賃を利用し旺んに輸入されたる結果日本炭の貯炭豊富にして約四千噸を算し其他博山粉炭二萬四千噸同塊炭三千二百噸開平塊千噸を有し殆んど滿腹の姿なれば日本塊炭の如き或は十弗見當の投物さへ現はれ勢相場の軟調を招致せるが既に需要期も近づける事とて手持筋一體賣急が殊に淄川塊炭の如きは悉く自家用並官廳官舍用としての外殆んど民間に供給するの餘裕無く且省内一般塊炭不足

の事とて賣行頗る活潑寧ろ現物を手に入るゝは困難の狀況に在り月を超へば相當活氣を呈するに至るべし

◎ コークス

引續市況不振の爲徒らに埠頭滯貨を増すのみにして前途の悲觀を想はしめしが近頃に至り横濱方面に對し安値引合を開始せる向ありて未だ成約の運に至らざるも沈衰の極に達せる市況に對し聊か注意を惹けるものゝ如し

◎ 牛 肉

開治洋行の麻尼刺輸出は毎月豫定の數量を積出し居れるが本月は更に浦鹽に向つて百八十三頭を送り麻尼刺行千九百六十三頭と併せて合計二千四百四十六頭を輸出せり本月中旬虎疫の流行により灣内及近海の漁業禁止せられたる爲め市場魚肉の姿を見ざるに反し之が代品として牛肉の賣行は遽かに旺盛を極め夏期閑散時期なるにも拘らず本月の地賣頭數四百七十四頭に上り例年の約二倍半に相當するの盛況を呈せり

◎ 牛 皮

閑散時期の事とて内地一般品出廻減少せるにも拘らず戦後の皮革に對する需要は中々盛んにして供給之に伴はざる姿に在り買手は相場の如何に拘らず競うて買進み益目先の強調を誘致するに至りしが朝鮮方面の出荷全然絶わ當地も排日の關係上兎角出澁氣味なるも相場は内地の好況を迎へて大皮三十七兩中皮三十五兩小皮三十八兩見當を唱へつゝ尙目先の強硬を示せり

◎ 鹽

本年の原鹽相場は民政當局の方針により輸出を制限せられたる上春鹽作柄良好にして增收確實となりたる爲め漸次軟調に傾

きたる一方積取船の回航尠なき爲埠頭滯貨夥しく置場に充滿し各店共此上の買付を手控ふるに至り愈デリ安の歩調を辿り月始現物五圓二三十錢より月中頃四圓五六錢迄落込み月末更に四圓を割りて三圓七八十錢(廿五日)と暴落近頃無き低値を現はしたるも之が爲今春來の強氣を一掃し實際相場を出現せるの感ありしが埠頭滯貨の減少と共に漸次持直すべきを見越せる賣手は一般賣惜しみの態度に出で先物は依然五圓五六錢見當にて商談の成立を見たりしが俄然月末二十七八日頃より數回に亘る豪雨の爲鹽田堆貨の大半は流失し鹽田も亦破損の個所尠なからず埠頭滯貨も約二千餘噸の損失を蒙りたるを以て相場は急に四圓四十錢と反潑高値を現せるが先物は依然五圓六七十錢見當を保合中本月を終れり

◎ 桐 材

排日の傳播により河南材の出廻り杜絶せる事は既報の如くなるが其が爲青島在荷も漸次減少し各店共著しく手持薄となりたる矢先内地も需要の期節に入り在荷頗る稀薄なるが爲め一齊買進み來りたる結果相場は急に河南材並物才十二錢五厘と暴騰せるも品無く二三年來全く顧みられざりし李村材の出荷を促すに至れり同材は從來搬出不便の爲輸出不引合の姿にて全然放棄せられたるものなりしが相場の暴騰と共に漸く採算有利となれるものゝ如く昨今旺んに輸出せらるゝに至れり

◎ 小 麥

幾分排日の緩和と共に濟南に於ける小麥取引は稍舊狀に復せるも護照發給は一段落を告げたる爲め新規商談出來ず加ふるに内地方面の麥粉安と爲替高とを控へ相場は始終不出合姿にありしも既約品に對する取引中々旺んにして市況頗る緊張せしが與

地一帯旱魃に遇ひ不作氣構にて月初シフ神戸十圓茲四元十錢より中頃四元四十錢と暴騰(神戸十圓四十錢)せしが月末に近く各地共二三回の降雨あり作柄も少しく見直したるものゝ如く月末四元二十五錢と下押弱保合ひしが爲替高の爲再びシフ神戸十圓四十錢と持直せり

内外經濟要報

大連の豆油

▲市場景況 曩に十八圓臺の高値を出現せる事ありし豆油相場は歐米方面への輸出不振銀價の突飛高及び運賃の引返等の惡材料に制肘され其後反動的低廉を告げ十四五圓臺を往來しつつあるが格別新規の材料もなき折柄商狀は浮動たるを免れずして相場も單に仕手の向背に因り一張一弛の狀態にあり而して今後の相場が騰落何れに分岐すべきや之れ素より未知數に屬し歐米輸出の好不況並に大豆及び粕等の商狀如何に左右さるべきは勿論ながら油房の多くは夏期休止を爲し其生産は平常の三分の一乃至五分の一に減額せる折柄輸出筋の態度は頗る注目を惹き居れり因に大連埠頭の搬入高は一日三四十噸内外にして在庫高は去る七日四千四百四噸を示し居れり

▲歐米輸出 元來歐洲向輸出は明治四十年頃開始されたるものなるが其當時は大連より直輸せず大部分は一旦神戸に仕向けられ更に之を積換へ歐洲方面に轉送するが如き方法を探り之れと同時に一方に於ては米國に於ける棉實油の缺乏を機とし米國にも輸出を見るに至れり而して歐洲戰前には歐洲向一箇年平均約四萬噸米國向約七千噸内外に過ぎざりき今之を表示すれば左

の如し (單位噸)

自	四	年	十	一	月	歐洲	一〇、九〇〇
至	元	年	十	一	月	米國	一、五〇〇
自	二	年	十	一	月	歐洲	二五、六〇〇
至	元	年	十	一	月	米國	三、四〇〇
自	三	年	十	一	月	歐洲	四四、五〇〇
至	元	年	十	一	月	米國	七、六五〇

斯くて歐洲戰開始の爲一時輸出杜絶の悲運に際會せるが然るに一旦米國に輸送し同地に於て加工し歐洲諸國への輸出の途啓け其後米國が聯盟に加入すると共に著々聯合國方面へ豆油加工精製品を火藥原料たるグリッスリン製造の爲輸出さるるに至り大正五年後勃然として増加せるのみならず米國棉花不作の爲棉實油生産高に減少を來たせるを以て之を代用として豆油の需要は一層増加し従つて米國向輸出は著しく増加を來すに至れり即ち左の如し

自	四	年	十	一	月	歐洲	四五、四〇〇
至	五	年	十	一	月	米國	一九、〇〇〇
自	五	年	十	一	月	歐洲	二、四〇〇
至	六	年	十	一	月	米國	八六〇〇
自	六	年	十	一	月	歐洲	一
至	七	年	十	一	月	米國	一四、〇〇〇

▲需供關係 豆油の主なる用途は云ふまでもなくペイントワニシユ石鹼の原料として米國に於ては戰前は主として石鹼製造及びワニス用に供せられたるものなるが戰争開始以來火藥の原料及び人造バタ製造の目的に使用せらるる分量遽に増加し就中米國は世界人造バタ製造の中心點となるに至りたれば將來此用途に用ふる豆油の需要は次第に増加すべきを疑はず尤も戰争終了の爲火藥の原料たるグリセリンの需要は減少を來たすべく殊に

石鹼製造用としての豆油の競争品たる棉實油の生産は將來米國に於て愈々増加するの見込あれば豆油の米國輸出は一時減少を見るやも知れず昨今の沈睡市況も此邊の事情に胚胎するものの如きも世界に於ける動物性油脂類の供給は世界的人口の増加に比例して増加すべきが故に植物性油脂類を以て之を代用せざるべからず豆油も今後精製品より以上良好なる食料品として精製され愈々眞價を發揮するに至るべく斯くて世界的需要品となれる豆油の用途は將來有望なりと見て大過なるべし

▲品質不定 東洋豆油の缺點を努めて改良されざるべからず米國は行々大豆を耕作して豆油を搾作するに至るべしと説くものあるも右は相場の關係上米國に於ては大豆を作るよりビーンズを作る方利益多く又豆油を搾作するには東洋方面に於けるよりも著しき多額の費用を要するを以て之等に對する懸念はなかるべし唯茲に注意すべきは戰時中日本内地に於ける製油工業著しく發達を遂げ鈴木商店の經營に係る鳴尾清水の二大工場を最大とし大阪若松等陸續として油房の設立を見るに至り従つて戰前には大豆消費額十三四萬噸なりしに急激に増大し四十二三萬噸に達し浦鹽港輸出の全部を消化するに至れることにして滿洲豆油工業は近き將來はいざ知らず將來に於て多少の打撃を蒙るならんかといふ

▲輸出増加 大連港より輸出さるる特產物大豆豆粕豆油の三品は發達勢狀顯著なるが中にも豆油は著しく増加を示し居れり則ち明治四十一年に於て七百七十五噸に過ぎざりしに昨七年には十八萬五千六百八噸（豆粕は十七萬四千四百四十八噸より九十五萬三千七百四十五噸大豆は十三萬九千噸より二十七萬三千三百十噸にして量としては三品中尙下位にあるも金額は豆粕に劣ること

僅少なるが今試みに明治四十一年より昨七年度までの輸出額を見るに左の如し

年	一	二	三	四	五	六	七
四一年	七、七五九	四二年	一三、六六五	四三年	二〇、九三〇	四四年	四、七四四
四五年	五、二六六	四六年	四、七四四	四七年	五、二六六	四八年	四、七四四
四九年	五、二六六	五〇年	四、七四四	五一一年	五、二六六	五二年	四、七四四
五三年	五、二六六	五四年	四、七四四	五五年	五、二六六	五六年	四、七四四
五七年	五、二六六	五八年	四、七四四	五九年	五、二六六	六〇年	四、七四四

而して之が仕向先を見れば左の如し

年	一	二	三	四	五	六	七
日本	七、七五九	四二年	一三、六六五	四三年	二〇、九三〇	四四年	四、七四四
朝鮮	一、二七六	四五年	五、二六六	四六年	四、七四四	四七年	五、二六六
支那	一、二七六	四八年	四、七四四	四九年	五、二六六	五〇年	四、七四四
露領	一、二七六	五一年	五、二六六	五二年	四、七四四	五三年	五、二六六
南洋	一、二七六	五四年	四、七四四	五五年	五、二六六	五六年	四、七四四
歐洲	一、二七六	五七年	五、二六六	五八年	四、七四四	五九年	五、二六六
米國	一、二七六	六〇年	四、七四四	六一年	五、二六六	六二年	四、七四四

▲大豆米國 右の統計に由り見るも其三分の二以上は米國に仕向けられつつあり曾つては歐洲は仕向大豆の輸出が盛なりしも漸次豆油と代るの風潮を生じ最近に於ては米國に其大半を吸引せらるるに至れるが歐洲向とて大正五年までは漸増の趨勢にありき然るに米國に於ける強大なる需要現はれ他に仕向くるの餘裕なきまでの盛觀を呈せり而して平和克復せる今後に於て引續き米國へ盛んに仕向けらるるか否やは問題なるが歐洲方面に於ける植物性油類は大拂底を告げ居れば此方面の需要復舊と共に豆油は愈々需要増大すべく先づ樂觀して可ならんか

▲包裝改良 斯くして滿洲豆油が世界の市場に名聲を博めたるが其の維持策に就ては未だ研究され居らざる模様にて昨春米國の豆油品質に關する件も不能の問題として其儘放任され居るも

之れヨリ以上緊要の問題とすべきは包裝ならざる可からず昨今石油罐二箇を木箱に收め積荷するもの多きが箱にして油染せざるものなく甚だしきは流出し岸壁の上は總て油土となり油の沼と化すと云ふ状態あり積込前既に此の通りなれば積込後の破損は想像するに難からず之要するに再三使用せる罐なるが爲にして油類の輸送はタンクに越すことなきも這は常に輸送平均し且つ多量に非らざれば失敗に歸する惧あり運賃に於て樽は稍不利の嫌あれど鐵製樽若しくは木製樽を使用するが得策なるべしと

支那の製粉業

大戰の影響により一時盛運を來したる支那の製粉業は其將來の發展如何を危まるる事業の一なるが引續ける世界的食糧騰貴中にも日本市場の關係により依然として發展を續け今日の情勢を持つてすれば將來も亦大に樂觀すべしとの觀測に於ては一致するに至れり即ち戰前に於ては米國よりの輸入一箇年約七百萬袋に達し此内の六十七萬擔は日本商人の手を経て滿洲方面に仕向けられ日本内地産も亦大正三年の戻稅實施後年々多少の輸入を見支那内地製は動もすれば生産過剩の虞ありしが開戰二年目より米國に續きて日本よりの輸入全く杜絶し滿洲上海に於ける製品は却つて日米兩國を主として聯合諸國に輸出せるに至ると同時に支那内地にては往年阿片栽培を禁じたる結果漸く顯はれて小麥の產出遽に増加せしため支那人の製粉業は茲に一新紀元を劃し上海一地のみにても三井の經營せる増裕、大有、大利、阜豐、福新等の十六工場にて晝夜の生産額三萬五百袋に達し更に無錫の四、漢口の三及び瓦州、清江浦、蕪湖、鎮江、高郵等の十五工場の生産二萬五千袋以上に達せる推算にして此外支那舊式小

規模工場の既に新設されしもの頗る多く米人の報告書にも支那製粉工業の基礎確立されたりと稱し居れり尙支那人の新式工場は多くバーナード式機械を採用しつゝあり

綿糸市場近況

内地綿絲界は諸物價騰貴率を凌駕して益々強調の傾向あるのみならず定期市場は從來兎角期近物の騰貴に比し伸長力鈍かりし先物の伸び足稍顯著となり最近當先の鞘は漸次縮少して五六十圓見當となり一時百圓近くの逆鞘にありし當時に比すれば實に四十圓内外を縮少せるが是從來に於いては先物買が

▲在荷拂底を背景とせる期近物の安心買を許せるに反し最近に至りては却て幾多懸念の事情即ち(一)物價調節の世界的宣傳(二)英米佛等の率先實行(三)原棉の軟調(四)支那日貨排斥の緩和と共に逐次買氣を惹起せるも未だ纏まりたる商談の行はれざること(五)定期取引に於ける受渡し品は殆んど戒二十手を以てせらるゝが故に現今の機織設備にては

▲消化困難なること等に依り逆鞘賣るべからずと云へる俚諺に拘泥せるものすら尙且つ一種の不安を感じ動もすれば買氣萎縮の傾向を繰返し株式界の鈍狀に伴ひ一般斯界の人心が稍不安警戒の狀態を維持せるものゝ如し然れども日貨排斥のため久しく取引中絶の姿にありし上海方面も頃來大ひに緩和の傾向を來し運輸業者の邦品取扱ひ開始に連れ新規商談も支障を感ぜざる模様となり剩さへ

▲在庫拂底の結果一般奥地の極端に綿絲布渴望せる折柄支那各地に亘り惡疫猖獗を逞しふし人氣に惡影響を及ぼす事尠からざる爲め支那の生産激減を來すは明かなる事實なれば是等の故

障終熄と共に需要期に入ると共に猛烈なる買進みあるは當然にして之が供給は日英米三國よりせざるべからず然るに今米國の狀態を見るに勞働問題及黒白人種の爭鬭並に生活費騰貴に依る不安と各種盟休の行はるありて對外貿易上不利なる地位にあるのみならず距離の遠大運賃高率危險の程度高きことも亦供給を圓滑ならしめざる一因なりとす翻へつて英國も亦曩日石炭坑夫の盟休導火線となり

▲綿業職工の九割は永らく盟休を續け最近に至り勞働時間短縮と賃金の値上げにて漸く協議纏まり復業するに至りたるが一方英米間の爲替關係に於て米棉の輸入を阻止せらるゝ傾向生じ來り従前に比し生産益々減少し従つて價格の著るしき騰貴を來したるのみならず本年五月以來英支間の電信の遲延は殊に甚だしく講和

▲條約調印 後は復舊すべしとの期待に反し今尙往復三週間を要する由なれば兩々相俟つて當分東洋に向つて販路擴張は覺束なかるべく殘るは我國のみなれば將來は樂觀さるゝも目先幾多の弱材料にて案外行間わの姿なるも先物に向つては警戒しつゝ尙買慕ひの風あるは斯界の前途豫示するものなるべしと

青島雜錄

(八月)

◎砲臺公園設計 守備軍司令部にては今回林學博士本多靜六氏を招聘し當地各砲臺並に堡壘中公園地として適當なる地域を選び之れが設計を爲す由過般來戰跡保存の議も既に整ひつゝある際此計畫の行はるゝに至るは双方相俟つて内外人の娛樂場を一

層増すに至るなるべく同氏は嘗て獨逸時代にも總督の聘に應じて來青せしことありと

◎游内山燈臺初點式 工費金七萬二千百十餘圓と約一箇年の歳月を費して本年二月竣工したる游内山燈臺初點火並に霧警號連轉開始式は八月五日午後二時より青島官民の重立ちたる者船舶業者及び新聞記者約二百名を招待し同所に於て盛大に舉行せり本燈臺は獨逸時代既に建設せられ一般航海業者の爲め多大の便宜を齎らし居たるも其後日獨戰争に際し獨軍は之を破壊し我軍の占領後之が復舊建設の議ありしも種々の事情より遷延し昨午三月に至り漸やく著手の運びに至り爾來軍土木當局の努力は勿論橫濱航路標識管理所の盡力と請負者の勤勉なるとに依り本年二月滞りなく豫定の工を竣ふるを得たり本燈臺は千五百燭光の馬力を以てレンズの作用に依り克く二萬二千燭光を放射し晴天の夜に於てよく十五哩の海上を照破す又霧警號は三十秒時を置きて三度の號笛を吹き鳴し四哩の遠きに鳴渡る由

◎獨埠人財産調 青島に於ける獨埠人の特殊財産に關しては去る五月廿三日軍令第十八號に基きて其調査に著手し更に六月三十日軍告示第三百三十號に依り之が管理を實施する旨公布せられたり然るに如何なる土地家屋其他の財産が此規定に該當するか未だ明瞭ならざりしが六日軍告示第五百十號に依り舞鶴町カルウキルデ以下百八十八名の土地及び同地上物一切を舉げて之を當守備軍に於て管理する事となれり

◎青島銀行増資 七月一日を以て開業したる青島銀行は現在資金五十萬圓内拂込額十二萬五千圓にては異常なる發展を告げつゝある當市場と對比して頗る貧弱の感あり到底十分の活動を許さざるに依り豫々増資の内議ありたるが其後其必要を痛切に感

するに至れるより重役會議を開き増資に就て協議の結果現在の倍額の百萬圓に増資する事に決定したり而して増資方法としては舊株一株に對して新株一株を割當て斯くて百萬の廿五圓拂込と爲す説有力なりしも種々の都合を顧慮したる上先づ第二回拂込金を徴收して實拂込額を廿五萬圓と爲し然る後百萬圓の株式會社に引直す筈にて近く事實となりて現はる可しと云ふ

◎損害賠償三千圓 エム、シー、シー商標權侵害に伴ふ損害賠償事件は原被兩者間に和解成立アンゼロ商會は昨日開店したるが賠償額は金三千圓にて尙アンゼロ商會は新聞紙に謝罪廣告を爲す事も和解の條件となり居れり

◎紡績計畫續出 青島に於ける紡績業は從來内外綿工場一社なりしも其後大日本、日清等亦前後して工場設置に決定内前者は工場敷地として約二萬五千坪の地所の買収を終りたるが据付鍾數は六萬鍾にして内外綿の六萬鍾と合計して十二萬鍾に達す可く此外日清を初め山本條太郎其他尙一社あり何れも三萬鍾計畫なれば青島の紡績は新舊を合せて廿萬鍾を超過す可しと

◎輸入麥五千噸 七月初旬以來最近迄に海州より當地に移入されたる小麥は鈴木商店買付の分のみにても三千噸餘あり總計五六千噸に上る由なり而して斯く一時に輸出されたる爲め一般の注目を惹起し排日運動者に依て一時妨害を受けたる如きも元來同小麥は芝罘仕向を裝ひて船積さるゝものなれば結局差したる影響なく昨今尙繼續して小港に到着しつゝあり

◎燐寸濟南進出 濟南に於ける燐寸工場の建設は從來屢々邦人に依て計畫せられたるも唯計畫に止り未だ其實現を見るに至らざる爲め製造工場として依然振業公司の獨舞臺なるが去五月青島に工場を開設せる東魯燐寸は最近に至て設備略完成を告ると

共に濟南進出の準備に著手し既に同地に於て敷地三千五百坪の選定を終りたる由なれば排日の終熄を俟て速急工場建設に著手す可く規模は大體青島工場と同一にて生産高は一日五十噸計畫なりと

◎花生油輸出高 七月當港輸出の落花生油は排日の最中なるにも拘はらず青島近傍よりの出廻相當ありたる爲め四千六十六噸八に上り昨年同期に比較して實に三千百廿四噸四の激増となれるが同月中同油の輸出も好況にて數量は二千八百三十四噸三是れ亦前年同期に比して一千三十四噸五を増加したり

◎燐寸漸次恢復 當地製造燐寸は六月以來殆んど全部停滯の狀態にありしも先月下旬に入りてより弗々取引行はれ最近數日間に東魯は伊藤忠の手を経て濟南に六車博山に一車發送何れも無事支那商に引取られたるが久しく沿線出張中の青島燐寸の宇田川氏も一兩日前歸青したる由なれば是れ又近く活動を開始す可く明石製品も弗々荷動きを見るに至れり

◎原鹽輸出盛況 製鹽盛期に入ると共に其出廻は頗る旺盛にして埠頭は置場に窮するの狀態にあり出廻斯の如くなるを以て當港輸出も盛況を呈し其數量は七月中に一萬五千三百廿五噸に上り昨年同期の六千四百廿噸と比較して八千九百噸の増加となれるが仕向地別に就て見るに日本内地一萬二千三十五噸朝鮮四千二百九十噸を示す

◎豆油輸出旺盛 落花生油は端境期に入れるも當港の輸出尙相當あり前月の如きも旬間に九百噸乃至千九百噸に上れるが豆油は本年に於て從來に例なき多數の輸出を見單に七月のみにても二千九百四十五噸六を示し昨年同期の七百十八噸に比較して實に二千二百六十噸五の増加となれり

◎山鐵石炭輸送數量 七月中山東鐵道が輸送せし石炭の數量は總計四千二百三十六車六萬三千五百四十噸にして之を六月中の四千七百九十二車七萬一千八百八十噸に比すれば五百五十六車八千三百四十噸の減少なるが其發送驛左の如し但し驛名下の數字の單位は十五噸積貨車一車とす

▲博山驛一、三八三 ▲大崑崙驛八二四 ▲淄川炭坑驛一、九二六 ▲淄川驛三一 ▲坊子驛七二

◎小港附近地價 小港附近の地所中日本人に貸下られたる者の内大半は既に支那人の手に移れる事は屢報の如くなるが地價は位置に依り無論一定せざるも小港貿易は現在極度に發達し居れる事とて讓受希望者は頗る多く早霧町に接近せる某氏の貸下地は最近坪銀四十圓にて讓渡されたりと

◎英國領事更迭 日獨戰前より戰地に在住し官民の間に多大の信望を博し來れる英國副領事エクスフォード氏は今般その公職を辭し後任として濟南英國總領事館の副領事アーチャー氏當分の職を執る事となりア氏は數日前來著エ氏と共に軍司令官始め各官署を歴訪し挨拶をなせりエクスフォード氏は今後専ら多年青島芝罘其他にて經營し來れる輸出入の商賣に従事すべく本年十月頃本國の實業界の趨勢視察の爲め往復約一年の豫定を以て英國に歸省するといふ因にアーチャー氏は吳淞町一番地英國招工局内に假事務所を置きたり

◎小港土地買占 小港埋立地の貸下に就ては當局者は慎重の審議を遂げ小港貿易助長の目的下に極めて公平に貸下られたりとは其當時聞く所なりしが其後同地には盛に家屋の建築を見現在に於ては殆んど餘地を存せざるも日本人に貸下られたる土地の大半は支那人の所屬に歸せるより觀察すれば土地の貸下は公と

云ふ事よりも寧ろ其實力に注意するの要あり將に貸下られんとする若鶴山下及び將來貸下らる可き大港埋立地貸下に於ては小港の轍を踏む勿れと

◎開治輸出牛肉 開治洋行は大正五年開設以來連續して一箇年二萬五千頭宛牛肉を馬尼刺駐屯の米國陸軍に納付し居れる外露國に向つても略同額の輸出を爲しつゝあり之が輸送船として從來馬尼刺はワレン、メリット二隻又露國向は同國義勇艦隊就航し居たるが右の内露國向は義勇艦隊の手を放れ同洋行取扱船ハナメット之が輸送に當る事となる可し

◎味噌醬油釀造組合設立 當地に於ける味噌醬油釀造業者六名は膠州町歌仙に主なる食料雜貨商を招き釀造組合設立の披露をなしたるが同組長に岩脇作惣氏副組長に橋口範雄氏決定したり

◎兩水源通水管 白沙河水源より李村水源地に至る水道鐵管敷設及び同路面工事は曩に金五萬餘圓にて平岡組に落札同組の光田麟治氏は専ら現場監督に當り目下工事を急ぎつゝあるが水道給水の現狀に顧み官給品たる鐵管の到着にして遲延せざる限り工事期限等に拘泥する事無く監督官と協議の上暗渠及び鐵管敷設用堀鑿等通水に要する工事に全力を傾注し以て極力工事の進捗を圖る由にて竣工期限たる來年二月以前に完成せしむ可しと

◎砂利同業組合 諸工事の旺盛に伴ひ砂、砂利等の需要は相當の數量に上れるも當業者は各別個の步調を取れる爲め品質値段不統一の嫌ひありたるが今回平山福井清水寺脇四同業者聯合の上廣島町に共同販賣所を設置新營業方針に依て活動開始の由なり

◎生牛輸出頓挫 長崎市の帝國畜產株式會社にては山東生牛の

◎排日貨と外船 當地上海間航路に就航せる本邦船は排日貨の爲め多大の打撃を受け去五月以來上海に於ける青島仕向積荷は約四分の一に減滯せると反對に外船（太古怡和兩洋行）は活躍の機會を得て奇利を占むるに至れるが今兩洋行船各別に就て見るに太古洋行取扱船の青島揚荷は一二月は殆ど云ふに足らず三四月に於ても僅かに九百噸内外に過ぎざりし物が九月は二千九十三噸六月は二千五百三十九噸に上り約倍増せるを見る可し詳細左の如し

(單位噸以下二位)

△一月四五九、七〇	△二月	一一、二〇	△三月	九五三、九〇
△四月九八一、〇〇	△五月二、〇九三、九〇	△六月二、五三九、四〇		

又怡和洋行船は就航船も財生、同隆、官陸の三隻に過ぎざる事
とて其増加數量存外尠きも四月の千四百七十八噸より五月は千
六百廿八噸に増加し居れり

◎山鐵炭業獎勵 毎年八九月の頃は農繁期なると降雨期なるとにより苦力賃昂騰し且つ需要期に非ざるを以て貯藏より生ずる變質及び資本固定等の損失あり爲めに石炭採掘量骸炭の製造高共に減少するを常とす鐵道部にては今回省内に於ける斯業を獎勵する目的にて八月十五日より九月三十日迄に各驛に託送する石炭及び骸炭に對しては左記の如く其運賃の割引の割戻を實行する事となりたる由此改正運賃の一例を舉ぐれば博山青島間の

輸出炭の運賃は一車に就き從來の四十五圓より三十一圓五十錢となり省内販賣炭の運賃は從來の六十一圓七十錢より四十三圓二十錢となるが如き之なり

一、租界内各驛に發著する石炭及び骸炭に對しては租界輸出
入運賃率の三割引とす

二、租界外各驛に到著する石炭及び骸炭に對しては内地運賃率の五割引とす

三、輸出割戻特約石炭及び骸炭に對しては租界輸出運賃率に依り其五割の割戻とす但し本年十一月末日迄に輸出をなさざる時は大正八年七月一日營末乙第二一號に定むる賃率に依る

◎青銀拂込事情 青島銀行にては取締役會の決議に基き第二回

拂込を行ふ事となれるが開業後半期も経過せざる今日拂込を斷行する事となれる爲め株主中には往々疑念を抱く者ある如きも同行當事者の語る所に依れば現在の青島銀行は資本金額の關係上組合組織の下に設立を見たるものに係り隨て同行は此土地限りの銀行にして大藏省の認可せる即ち銀行條例に據る銀行に非ず且又經濟界の大勢は早晚必ず増資せざる可らざるは明白なるを以て寧ろ此際百萬圓に増資の上主務省に認可申請するを得策とし斯て第二回拂込を徴するに至れるなり尙ほ拂込終了後株式一個を十二圓五十錢拂込の二株に分割し以て百萬圓に對する四個の一拂込となし主務省の認可を受ける順序なりと

●●●●●●●●●●
◎桐商制限撤廢 當地の桐材商全部を株主とせる桐材會社が本年一月設立されたる以來濟南以東に於ける同材の取引は全部會社の手を経る事となれる爲め之に依取引値段の統一を圖り兼て支那桐商の暴利獲得を防止し得たるも二三ヶ月來二三大商店は新たに桐材買付を開始し會社側と別個に活動する所より會社の

會社要報

● 蛋粉會社鼎立

伊藤忠商店が新たに濟南に資本金百萬圓の中華蛋廠を經營する事となり既に商埠五馬路濟南醫院前に敷地を選みて建設に着手し昨年來盛大に經營し居る東亞蛋粉會社と對立する事となりたるが更に青島に蛋粉工場を經營し居る合資會社大星公司にても新たに濟南に分工場を開設する事となり東亞蛋粉の隣接地に敷地を求め不日工事に着手する事となりたり尤も同公司と東亞蛋粉とは共に阿部幸兵衛氏系の事業にして資本金を同じくし居れば相互提携して進む事に話しを纏めある由にて新設分工場は一日約五萬個の鶏卵を消費する程度のもなりと

● 東魯燐寸登記

從來の匿名組合より百萬圓の株式會社に組織を變更したる東魯燐寸は兩三日前濟南に於て會社成立の登記を了したるが役員の名左の如し
取締役社長小林吉右衛門、專務取締役村井八百吉、取締役柴田友藏、石神與三郎、水津豐、監査役藤木彌八郎、當吹正直

● 會社設立注意

濟南又は青島に於て會社を設立し其登記を在濟南帝國總領事館に申請する場合には先づ定款作成前若くは創立總會開會前一應其營業科目を總領事館に内示し置くの必要あり且當事者の便利なり近來會社設立登記申請出願書中には登記に差支へある可き營業科目を記載する者夥かうざるの事にて斯くては申請者に於て其項目訂正又は削除等の爲め自然時日を要する事となり不

都合多きを以て一般會社設立計畫者は此點に深く注意を要す可きなりと當局者は語れり

● 青銀拂込好成绩

青島銀行の第二回拂込は八月二十日より廿五日に亘り徴收されたるが期間内に拂込を了したるもの十萬五千圓更に昨日中に約一萬圓ありたり而して一部の拂込遅延は旅行出張等に依る不在の爲めなるも多分全部完了を見るべしと

● 綿糸工場計畫

東京山本條太郎氏は當地三井物産主任飯塚重五郎氏を部理代理人とし綿糸工場建設の目的を以て海泊河々口北側なる大日本紡績會社敷地と内外綿會社工場との中間の地二萬五千坪の貸下の許可出願を爲せり其建物坪數内譯は煉瓦建平家二棟約三千五百坪倉庫平房六棟百八十坪機械室一棟二百坪事務所二階建百二十坪其他各種建物三百坪而して之が建築に要する經費は百三十萬圓認可の日より向ふ二箇年にて竣工せしむべしといふ

● 内外棉完成期

昨年一月紡機四千錘の据付と共に操業を開始せる内外綿會社の第六工場青島所在は最近二萬錘の設備を終れるに依り更に現工場の隣接地に第十一の二工場を建設する事となり目下建築工事中なるが本年中に大體竣工の筈にて之に要する紡機も來春早々より順次到着すべきに依り八月には操業開始の運びに至る可設備紡機は各二萬錘即ち既設第六工場の分を合計六萬錘也

● 東洋製油の進工

東洋製油會社當支店が工場地に建築中の事務所工場住宅等約一千坪の建築工事は略豫定通過進捗既に煉瓦積を終りて本日上棟式舉行の筈なるが九月一坪には竣工の筈なり

● 山東信託成立

山東信託倉庫株式會社の創立總會は八月廿一日午後三時より市民會に於て開催西川博氏座長席に就き創立經過報告を爲すと共に定款の議定に移り異議なく可決次で役員選舉の結果取締役に市野常三郎、馬場長兵衛、西川博、松波銀之丞、鈴木友二郎、須賀正俊、監査役に井手三次、林新之助、倉兼謙吉の諸氏當選したるか續て設立手續の調査、第一回決算期を來年六月に繰延の件を可決し終りに西川氏より營業方針の概要を説明する所あり茲に會社の成立を告て五時散會したり困に代表者取締役には西川氏舉げられ常務取締役には鈴木、須賀兩氏に當る筈

● 兩葉煙草成立

東京に於て計畫されたる資本金一百萬圓の東洋葉煙草會社は七月廿日を以て株式募集を締切り本月上旬第一回拂込を了したるに依り數日中に會社成立の筈なるが一方此會社と同一目的を有する當地の山東葉煙草商會も過般來五十萬圓の株式會社に組織變更の計畫中にあるは是れ又數日内に成立を見るべしと

● 東拓支店許可

豫て出願中なりし東洋拓殖株式會社針貝金次郎氏を支店長として當地に於て營業をなす同社支店の開設は八月十七日附を以て許可せられたり

● 相互建築許可

豫て出願中なりし青島相互建築株式會社支店設置の件は八月十五日附を以て許可せられたり

● 中外綿業實質

原棉供給と綿製品販賣の目的の下に計畫されたる中外綿業株式會社は茂木合名會社と大坂市の岩田商會社との握手に依て最近愈々成立を告げたり資本金は既記

の如く五百萬圓にして此總株式五萬株は之を折半し各其一部を引受けたる由なれば全く同等の權利義務を有する譯なり而して茂木惣兵衛、岩田惣三郎兩氏は會社の顧問として名を列れ役員として左の諸氏就任したるが青島を始め上海、天津、漢口其間に近く設置の筈なり社長岩田松之助、取締役岩田宗次郎、同 山口精一 同 島田乙駒、監査役木幡基三、同 岩田正一

●山東運輸計畫

山東運會社が曩に銀五萬圓を投じて設立せる苦力收容所は妻帯者宿舍六棟獨身宿舍八棟其他附屬建物を含めて合計廿七棟に上り目下一千人内外を收容し居れるが設備は頗る完全し衛生より慰安娛樂に至る迄殆んど遺憾なく整へたるも更に劇場寺院病室醫務室等を増設して理想的のものたらしむ可く尙時機を見て現在の倍大に規模擴張の由

●東亞興業現況

山東問題の解決と同時に山東に於て大活動を爲す可く傳へらるる東亞興業會社の現況を見るに資本金は二千萬圓内拂込額七百廿五萬圓なるも別に借入金一千八百八十三萬五千餘圓を有せるが貸付金は二千三百四十四萬一千圓にして本年上半期利益金は三十二萬四千圓荒井賢太郎氏を社長とし白岩龍平氏常務取締役の椅子を占む

●山東葉煙草滿株

過般來資本金五十萬圓を以て創立中の山東葉煙草會社の株式は名古屋方面の申込多數なりし爲め一萬株超過目下其割當中にあれば八月中に創立の運びに至る可し

●蛋粉會社創立

伊藤忠商店にては新に株式組織を以て濟南に一大蛋粉會社を設置する事となり既に商埠五馬路濟南醫院の筋

向ひに工場敷地の選定成れるを以て近々建設工事に著手すべしと同社は株式會社中華蛋廠と稱し資本金百萬圓四分の一拂込み(但し公募せず)にて事業を開始すべく青島伊藤洋行支店主任淵田太郎氏を始め上海天津等同店各地支店の主任を重役に擧げたるも青島大星公司在在りて蛋粉等の經驗に富める佐々木政治氏專務取締として専ら經營の任に當る筈なりとの濟南には既に東亞蛋粉會社ありて事業擴張中なれば原料の集りに困難を來す事なきやを憂慮する向あるべきも濟南の原料供給力ば偉大にして現在に於ても一日百萬個の鶏卵を集むるは敢て難事にあらず今新たに同社が此れに割込むも原料難に陥るが如き憂へは全く之れなしと云ふ

●青島鹽新株拂込

青島鹽業會社の百萬圓増資案は曩に臨時總會の承認を経目下第一回拂込中にあるが同社本年上半期の業績は良好にて年二割の株主配當をなしたり

青島日支人營業種類別

本年八月末調査日支歐米人營業種類別左の如し

營業種類

日本人

支那人

計

營業種類

日本人

支那人

計

銀行業 二七一
貿易業 一一
船泊業 一八
海運業 五四
通運業 四
運輸業 九
倉庫業 六

五 三
二七九 八
一 二
一 二
一 九
三 五
一 四
一 七

鑄造業 一
造船業 三
製材業 三
製鐵業 一
骨灰製造業 一
練炭製造業 一
精米業 一
皮革製造業 一

四 五
三 三
一 一
一 一
一 一
一 一
一 一
一 一

一 四
三 三
一 一
一 一
一 一
一 一
一 一
一 一

一 四
三 三
一 一
一 一
一 一
一 一
一 一
一 一

一 四
三 三
一 一
一 一
一 一
一 一
一 一
一 一

一 五
三 三
一 一
一 一
一 一
一 一
一 一
一 一

保險業	問屋業	仲買業	仲立業	仲介業	委託賣買業	牧畜業	製鹽業	製油業	製粉業	製棉業	製糸業	紡績業	製煉業	冶金業	勞力供給業	通信興信業	翻譯通辯業	寫真業	印刷業	製本業	印刷業	染物業	洗濯業	洗張業	廣告業
-----	-----	-----	-----	-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-------	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

一三七	二七	三四	四一	四二	四三	一六	一〇	七	三	二	一	一	一	一	四	一	二	二〇	一七	五	八	四	二	一	五
-----	----	----	----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	---	---	---	---	---	---

一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

一三八	一三	二八	三五	四二	四三	一六	一	八	三	三	一	四	一	一	四	一	二	二	二	五	九	一	三	一	五
-----	----	----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

棉花壓滓業	燐寸製造業	同材料製造業	罐詰製造業	酒類製造業	味噌醬油製造業	石鹼製造業	煉瓦製造業	硝子製造業	乾血製造業	沈船引上業	用達業	掃除業	請負業	設計調查測量業	藥種業	賣藥業	製藥業	銃砲業	度量衡販賣商	火藥商	金融業	兩替商	質商	古物商	競賣業
-------	-------	--------	-------	-------	---------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-----	-----	---------	-----	-----	-----	-----	--------	-----	-----	-----	----	-----	-----

一	四	三	三	一五	七	三	二〇	一	一	一	一六	五	一七五	一	四〇	四一	五	五	一六	七	五〇	九	三六	一〇九	八
---	---	---	---	----	---	---	----	---	---	---	----	---	-----	---	----	----	---	---	----	---	----	---	----	-----	---

一	一	一	一	一	一	一	一五	一	一	一	一	一	一〇	一	一七	一五	一	一	一	一	一〇	一	一〇六	一	一
---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	----	---	----	----	---	---	---	---	----	---	-----	---	---

一	四	三	三	二	九	三	三五	一	一	一	一六	七	一八五	一	五七	五六	五	五	一六	七	八六	一九	三七	二五	八
---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	----	---	-----	---	----	----	---	---	----	---	----	----	----	----	---

寄興	法律顧問	代辦業	代書業	周施業	行商	占卜業	遊戲業	髮結業	理髮業	美顏術	按摩業	灸術業	鍼術業	看護婦業	胞衣取扱業	產婆業	藥劑師	齒科醫	醫水業	潛水業	銀冶業	鐵工業	點燈業	葬儀業
----	------	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

一	二	七	七	一五	一八	二〇	二五	二五	三六	三七	一〇	一五	一四	五	一	二六	六	九	一五	五	一〇	二	一	五
二	八			二		二四		七		五〇		三									五	三	一	
三	〇	七	七	一七	一八	四五	五	三二	五六	八七	一	三三	一五	一四	五	一	二六	六	九	一五	五	一五	二	五

石	木	生	畜	海	棉	織	時	金	機	音	湯	待	席	魚	肉	乳	冰	仲	喫	料	西	飲	料	下	旅
材	材	牛	產	產	綿	物	計	物	械	曲	屋	合	貨	類	類	類	清	茶	茶	理	洋	食	理	宿	館
商	商	賣	商	物	布	商	貴	商	具	藝	業	業	業	商	商	商	涼	屋	店	仕	料	店	店	業	

一六	三八	五	一三	一七	八	五	一五	三五	七二	三六	二一	七	五	三六	二七	八	四	一	二	六	一九	六二	一〇	一三	四〇
八	八		三	三		四	四	四	三	一	九		二	一六	七四	八	三					七三	二二	一	三三
二四	四六	五	一六	二〇	八	九	一九	三九	七五	三七	三〇	七	七	五二	一〇一	一六	四七	一	二	六	一九	一三五	一三二	一四	七三

活動寫真業	箱買實業	屑物賣買業	有價證券賣買業	貸夜具衣類業	貸本業	貸家業	貸船業	貸人力車業	貸乘合馬車業	貸乘合自動車業	人力車販賣業	自轉車販賣業	自動車販賣業	車廠	衣類商	雜貨商	荒物商	小間物商	皮革商	油類商	紙類商	茶類商	書籍商	文具商	繪端書類商
一五	六六	四六	七四	六六	二六	九二	二九	二二	七〇	一七	三七	二三	一四	一五	二五	二二	二二	二六	二二	二〇	一四	五五	七三	二三	五五
一	三	四	一	一	一	一	一	三一	九	六	二	二	一	一	五	四	五	一	一	二	一	一	三	一	
一八	一〇	四〇	七四	六六	二六	九二	四三	一六	一六	一六	一七	一五	一四	一〇	一〇	六七	二六	二六	二二	二二	一四	一五	一〇	二六	

石炭商	コークス商	石灰商	肥料商	陶器商	食料品商	穀類商	鹽商	青島果物商	煙草商	酒商	豆腐商	菓子商	吳服商	洋服商	箱製販業	桶製販業	靴製販業	提灯傘製販業	看板製造業	裝飾業	ペンキ塗業	機械器具製業	車輛製販業	荷車製、修理業	鞆革製、修理業
六九	一八	五八	一二	二一	一七六	二九	三五	三六	一九	六一	一三	八六	一五	一四	六	五	九	四	六	九	一三	一二	一	一	一
一一	一一	一一	一一	一一	二四	六	三	五四	五八	三七八	七	一	九	一	一	一	二	一	一	一	一	六	一	一	一
八〇	一八	九五	一三	二〇	三〇〇	三五	三八	九〇	七七	四三九	二〇	八七	二四	一四	六	五	一一	四	六	九	一三	一八	一	一	一

飲食物商	吳服購買會	庭師具業	表具業	石工業	漆工業	鍍力細工業	金銀細工業	指物業	木挽業	疊製販賣業	金庫製販賣業	工庫製販賣業	塗料商	染料商	薪木炭商	衛防動具商	運動具商	煙花商	化粧品商	履物商	硝子商	樂器商	玩具商	漁具商	船具商	家具商
------	-------	------	-----	-----	-----	-------	-------	-----	-----	-------	--------	--------	-----	-----	------	-------	------	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

1	3	5	4	1	3	4	7	5	1	1	1	4	9	1	5	4	3	3	2	7	2	9	7	7	1	3	5	1	3	5			
2	7	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	2	1	1	4	1	1	1	1	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
2	7	3	5	4	2	3	7	8	5	1	7	1	5	1	6	1	4	9	3	3	2	7	3	3	8	8	1	3	5	1	3	5	4

信託業	髭製造販賣業	農產物業	書工業	窯業	貸自轉車業	製造加工業	鑛業	販者業	靴修理業	娼婦業	左官業	船大工業	木工業	用便業	遊覽船業	飼料商	艦船賣込業	繩吹販賣業	植木盆商	種苗商	裁縫業	物品販賣業	新聞取扱販賣業	市場業	共同販賣業
-----	--------	------	-----	----	-------	-------	----	-----	------	-----	-----	------	-----	-----	------	-----	-------	-------	------	-----	-----	-------	---------	-----	-------

2	2	1	1	2	2	5	5	1	1	1	6	2	3	4	2	1	2	3	9	1	7	1	2	8	5	2	5	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	1	1	2	2	5	5	1	1	3	6	2	3	4	2	1	2	3	9	1	7	1	2	8	5	4	6	1	1	1	1

鑛石商 一
繭商 一
小島商 一

四、一七三、二〇一三六、一八六

歐米人營業種類別調 (八月末日)

銀行業 一
貿易業 一
海運業 一
倉庫業 一
保險業 一
仲買業 一
請負業 一
醫藥師 一
金融業 一
古物商業 一
料理商業 三
代辦商業 二
貸自動車業 二
煙草商業 二
酒賣業 一
生牛賣業 一
油類商業 一
畜產物商 一
計 三六

法 規

軍令第二十八號

青島守備軍臨時戶口調查規則左ノ通定ム

大正八年八月二十三日

青島守備軍司令官 由比 光衛

青島守備軍臨時戶口調查規則

第一條 大正九年十月一日午前零時軍管內ニ現在スル者ニ就キ

臨時戶口調査ヲ施行ス

前項ノ時期前ニ日本内地、臺灣、朝鮮、樺太、關東州其ノ他國勢調査ヲ施行スル港灣ヲ發シ國勢調査ヲ受ケスシテ前項ノ時期後三日以內ニ青島港ニ入リシ者ハ大正九年十月一日午前零時ニ現在セシ者ト看做ス但シ日本内地又ハ大連ヨリノ定期船ニ在リテハ前項時期後三日以後ニ到著スル場合ニ於テモ亦戶口調査ヲ執行スルモノトス

第二條 戶口調査ハ左ノ事項ヲ調査ス

一 氏 名

二 世帯ニ於ケル地位

三 男女ノ別

四 出生ノ年月日

五 配偶ノ關係

六 職業及職業上ノ地位

七 出生地

八 教育ノ程度

九 常用以外ノ語

十 不具、廢疾及其ノ原因

十一 本 籍

十二 民籍又ハ國籍

十三 來住ノ年

第三條 調査ハ各世帯ニ就キ之ヲ執行ス

世帯ト稱スルハ住居及其家計ヲ共ニスル者ヲ謂フ

一人ニシテ住居ヲ有シ家計ヲ立ツル者亦一世帯トス

住居ヲ共ニスルモ別ニ家計ヲ立ツル者又ハ家計ヲ共ニスルモ

別ニ住居ヲ有スル者ハ一世帯トス其ノ一人ノ場合亦同シ

寄宿舎、下宿屋、旅店、病院其ノ他多數集合スル場屋又ハ船

舶ニ在ル者ニシテ別ニ世帯ヲ營マサル者ハ一場屋又ハ二船舶

毎ニ一世帯ニ準ス

第四條 世帯主又ハ世帯ノ管理者ハ調査ノ執行ニ際シ第二條ノ

事項ヲ答申スルノ義務アルモノトス

前項ノ答申義務者不在ノ世帯ニ在リテハ之ニ代ルヘキ者若ハ

戸口調査員ノ指定シタル者ヲ以テ答申義務者トス

第五條 第一條調査執行ノ期間ハ大正九年十月一日ヨリ三日以

内トス若シ避クヘカラサル事故ニ依リ同期間内ニ執行スルコ

ト能ハサルトキハ其ノ事故ノ止ミタル翌日ヨリ三日以内トス

前項ノ調査前ニ於テ大正八年九月十一日ヨリ同月三十日マテ

ノ間ニ一回大正九年九月十一日ヨリ同月三十日マテノ間ニ一

回準備調査ヲ執行ス

第六條 戸口調査執行ノ時刻ハ日出ヨリ日没マテノ間トス

口調査員ヲ置ク

戸口調査員ハ戸口調査委員ノ推薦ニ依リ民政長官ニ於テ之ヲ命ス

第七條 戸口調査委員ハ憲兵分隊管轄内ノ調査執行ヲ管掌シ戸

口調査監督員以下ヲ指揮監督ス戸口調査監督員ハ戸口調査員

ヲ監督シ戸口調査員ハ調査ノ執行ニ從事ス

第八條 戸口調査ニ從事スル職員ハ職務執行ノ際別ニ定ムル微

章ヲ佩用スヘシ

第九條 大正九年十月一日午前零時ニ軍管内ニ現在シタル者ニ

シテ調査ヲ受ケサリシトキハ同年十月四日迄ニ最寄憲兵官署

ニ其ノ旨申出ツヘシ

第十條 憲兵分隊長ハ戸口調査ニ際シ居住民ノ移動ヲ來シ調査

ヲ阻害スルノ虞アリト認ムル行爲ヲ禁止シ又ハ制限スルコト

ヲ得

第十一條 戸口調査ニ際シ調査ヲ忌避シ答申ヲ拒ミ又ハ不實ノ

答申ヲ爲シタル者及答申義務者ヲシテ答申ヲ爲スコトヲ得サ

ラシメ又ハ不實ノ答申ヲ爲サシメタル者ハ五十圓以下ノ罰金

ニ處ス

第十二條 第十條ノ命令ニ従ハサル者及虚偽ノ風説ヲ流布シ又

ハ偽計若ハ威力ヲ用キテ調査ヲ妨ケタル者ハ一年以下ノ監禁

又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（大正八年八月）

寄贈書類

(七月及八月
中到著ノ分)

○滿	○所	○所	○會	○岡	○貿	○經	○朝	○保	○上	○商	○內	○鐵	○時	○時	○週	○週	○月	○月	○月
蒙實業彙報				山商工彙報	易通報	濟資料報	鮮經濟時報	險銀行時報	海經濟時報	工商時報	外商工時報	工時報							
報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報	報
第五〇九號	第一六〇號	第一一五號	第三號第四號	第一三五六號	第一四四五號	第七號第八號	第四二二號	自第九三八號至第九三五號	第七一二號	第二二號	第六號第七號	第七號第八號	第一五四號	第五卷第七號第八號	自第三八五號至第三八八號	自第一六一號至第一六四號	自第一四七號至第一五一號	第三〇號	自第七九號至第八〇號
大連商業會議所	函館商業會議所	東京商業會議所	太田實業協會	岡山商工彙報社	大阪商業會議所	東亞經濟調查局	京城商業會議所	保險銀行時報社	上海經濟時報社	大阪市役所商工課	山東經濟時報社	農商務省商品陳列館	鐵工時報社	上海遠東時報社	神戶商業會議所	上海商業會議所	日本棉花週報社	下關商業會議所	平壤商業會議所

○青島商報	第七號	青島商報社
○通商公報	自第六四一號至第六四八號	外務省通商局
○山公論	第五二號	山東公論社
○上海論	自第三三八號至第三四一號	上海春申社
○大陸	第八號	大連大陸社
○工業之大日本	第八號	工業之大日本社
○岐阜商報	第六六號	岐阜商業會議所
○青島港貿易統計月報	大正八年五月分至六月分	青島守備軍司令部
○青島ニ於ケル物價	大正八年六月三十日	青島守備軍民政部
○上海港貿易統計月報	大正七年七月至八月	上海商業會議所
○青島埠頭月報	大正八年六月	青島守備軍民政部鐵道埠頭事務所
○半年報	第二八回	京都商業會議所
○年報	大正七年	橫濱商業會議所
○吉會線關係地方 _(吉林省其ノ一)	調查報告第四卷	南滿洲鐵道株式會社
○支那の羊毛		支那經濟社
○支那の棉花	前編	支那經濟社

品 目		建 物		單 位		本月ノ價格		前月ノ價格		比 較	
牛 油	(建築材料)			百 斤	銀	22,000	銀	18,000	□	4,000	
石 灰	粉			"	"	630	"	630	×		
石 灰	粉			十 貫 才	"	2,500	"	2,500	×		
石 灰	粉	普通花崗石平均		十 貫 才	"	400	"	400	×		
石 灰	粉	三才以下		"	"	450	"	450	×		
石 灰	粉	三才以下		一 才	"	600	"	600	×		
石 灰	粉	三才以下		"	"	700	"	700	×		
石 灰	粉	三才以下		千 箇	"	9,000	"	9,000	×		
石 灰	粉	三才以下		"	"	8,000	"	8,000	×		
煉 瓦	類	鱗瓦		"	"	30,000	"	30,000	×		
煉 瓦	類	中葺		"	"	60,000	"	60,000	×		
煉 瓦	類	黑煉		"	"	7,500	"	7,500	×		
煉 瓦	類	手押煉瓦 (支那型)		"	"	8,000	"	8,000	×		
煉 瓦	類	鴨綠白松	一 連	一 立 方 米	"	22,000	"	22,000	×		
煉 瓦	類	同	二 連	"	"	26,000	"	26,000	×		
煉 瓦	類	同	三 連	"	"	28,000	"	28,000	×		
煉 瓦	類	同	四 連	"	"	28,000	"	28,000	×		
煉 瓦	類	鴨綠江赤松	一 連	"	"	24,000	"	24,000	×		
煉 瓦	類	同	二 連	"	"	30,000	"	30,000	×		
煉 瓦	類	同	三 連	"	"	32,000	"	32,000	×		
(蔬菜及果實類)											
馬 齡 薯	新			百 斤	金	3,200	"	3,500	△	300	
薩 摩 芋				"	"	12,000	"	5,000	□	7,000	
牛 蒡				"	"	8,000	"	8,000	×		
人 蔘	新			"	"	4,500	"	4,000	□	500	
林 蔘				十 箇	"	300					
(雜 貨)											
綿 絲	雙 虎 十 六 手	一 件	銀兩	176,000	銀兩	175,000	□	1,000			
綿 絲	紅 團 龍	"	"	191,000	"	190,000	□	1,000			
綿 絲	丹 鳳	"	"	175,000	"	166,000	□	9,000			
綿 絲	銀 月	"	"	176,000	"	174,000	□	2,000			
綿 絲	紅 月	"	"	174,500	"	173,000	□	1,500			
綿 絲	紅 萬 福	一 大 箱	銀	33,000	"	33,000	×				
綿 絲	雙 喜	"	"	34,000	"	34,000	×				
麻 袋	新 同 舊	一 枚	"	400	"	370	□	30			
麻 袋		"	"	350	"	300	□	50			
麻 袋		"	"	350	"	300	□	50			

品名	建	物	單	位	本月ノ價格	前月ノ價格	比	較					
(農畜產及加工品)													
上海米	上	海	一	等	品	百五十斤入	銀	11,500	銀	11,500	×		
			二	等	品	"	"	9,000	"	9,500	△	500	
			三	等	品	"	"	7,000	"	7,500	△	500	
高梁	滿洲	一	等	品	百	斤	"	2,300	"	2,100	□	200	
		二	等	品	"	"	2,200	"	1,900	□	300		
		三	等	品	"	"	1,500	"	1,650	□	250		
大小黃落	麥	麥豆				"	"	2,200	"	1,900	□	300	
						"	"	3,900	"	4,500	△	600	
						"	"	3,500	"	3,500	×		
花生粉	無兵同綠	船一二三魚	一	等	品	"	"	10,500	"	9,000	□	1,500	
			二	等	品	"	"	2,800	"	2,400	□	400	
			三	等	品	"	"	2,600	"	2,300	□	300	
			一	等	品	"	"	2,000	"	1,700	□	300	
			二	等	品	"	"	品切レ					
			三	等	品	"	"	品切レ					
棉花生油	落豆	花油				"	銀兩	30,000	銀兩	30,000	×		
						"	銀	25,000	銀	23,000	□	2,000	
						"	"	16,300	"	15,000	□	1,300	
豆羊	粕肉	肉				"	"	3,000	"	3,000	×		
						一百	磅	"	250	"	250	×	
						"	金	270	"	250	□	20	
豚鷄	肉卵	皮				"	"	220	"	200	□	20	
						"	"	200	"	180	□	20	
						"	銅元	300	"	300	×		
牛	骨	小				千	個	金	25,000	"	18,000	□	7,000
						"	斤	銀兩	35,000	"	34,000	□	1,000
						"	"	33,000	"	32,000	□	1,000	
						"	"	31,000	"	30,000	□	1,000	
						"	"	32,000	"	31,000	□	1,000	
						"	"	31,000	"	30,000	□	1,000	
牛	骨	小				"	"	30,000	"	29,000	□	1,000	
						"	"	36,000	"	36,000	×		
						"	"	34,000	"	34,000	×		
牛	骨	小				"	"	32,000	"	32,000	×		
						"	銀	200	"	2,000	×		

品名	建物	單位	本月ノ價格	前月ノ價格	比較
木	同 二寸ノ三寸	一 本	銀 700	銀 700	×
	同 三 寸 角	"	" 1,000	" 1,000	×
	同 四 寸 角	"	" 1,760	" 1,760	×
	中橫三寸四分ノ五分	一 枚	" 230	" 230	×
	大橫三寸七分ノ七分	"	" 330	" 330	×
	木 摺	一 坪	" 1,000	" 1,000	×
	鹽 地 柚 角	一 坪	" 130	" 130	×
	栓 柚 角	"	" 120	" 120	×
	樽 柚 角	"	" 130	" 130	×
	桂 角	"	" 130	" 130	×
	櫻 角	樺 太 地	" 130	" 130	×
		內 地	" 160	" 160	×
	(雜 貨)				
	菊 花 四十二手燃絲	一 俵	銀兩 325,000	銀兩 320,000	□ 5,000
	日 鳥 二 十 手	"	" 199,000	" 198,000	□ 1,000
綿	扇 面 十 六 手	"	" 185,000	" 180,000	□ 5,000
	金三馬 同	"	" 180,000	" 180,000	×
	藍 魚 同	"	"	" 品切	✓
	九 龍	一 疋	" 6,200	" 6,050	□ 150
	布	"	" 62,000	" 5,950	□ 250
	太 鼓 天 竺	"	" 3,700	" 3,700	×
	得 寶 牌	一 大 箱	銀 32,500	銀 32,500	×
	雜 牌	"	" 31,000	" 31,000	×
	膏 金 勝	一 箱	" 5,000	" 5,600	△ 600
	赤 金 勝	"	" 4,900	" 5,500	△ 600
石	美 孚	"	" 6,650	" 6,250	△ 600
	美 虎	"	" 5,550	" 6,150	△ 600
	亞 細 亞 僧 帽	"	" 5,250	" 5,850	△ 600
	幸 福 印	"	" 5,650	" 6,100	△ 450
	星 印	"	" 5,550	" 6,200	△ 650
	油				
石	姪 人 同 丸	六 貫 俵	金 3,300	金 3,100	□ 200
	炭 丸 上 角 淺	"	" 3,200	" 3,060	□ 200
	炭 丸 上 角 淺	"	" 3,000	" 2,700	□ 300
	炭 丸 上 角 淺	"	" 2,900	" 2,400	□ 500
	炭 丸 上 角 淺	"	"	"	
(支 那 品)					

品名	建物	單位	本月ノ價格	前月ノ價格	比較
鯉	上中下龜松	百目	金 1,300	金 1,300	×
		"	" 1,200	" 1,200	×
		"	" 1,100	" 1,100	×
		"	" 1,200	" 1,200	×
	印葦	一罐	" 800	" 700	□ 100
罐詰類	筍	"	" 450	" 450	×
	鯉	"	" 330	" 380	×
	赤サ	貝	" 380	" 380	×
	ザ	エ	" 450	" 450	×
大豆		一升	" 400	" 400	×
小豆		"	" 500	" 500	×
元割	角花	"	" 500	" 600	△ 100
挽麥	割割	"	" 380	" 380	×
		"	" 360	" 360	×
		"	" 350	" 350	×
麥片	麥	"	" 370	" 370	×
へッラ	トド	三磅入	" 180	" 180	×
		"	" 1,500	" 1,500	×
		"	" 1,500	" 1,500	×
(建築材料)					
丸鐵	鐵板	拾貫枝	銀 5,300	銀 5,300	×
	平均	"	" 品切レ	"	
	十三入 3'×6'	"	" 2,500	" 2,500	×
	五入二厘 3'×6'	"	" 2,000	" 2,000	×
	平板 #30-3'×6'	"	"	"	
亞鉛	板	"	" 2,200	" 2,200	×
	同上 #26-3'×6'	"	" 1,980	" 1,980	×
	浪板 #30-3'×6'	"	" 2,200	" 2,200	×
	同上 #26-3'×6'	"	"	"	
洋釘	1"-5"	百斤入一樽	" 15,600	" 15,600	×
阿部ハイント	鍍色A 二十八磅入	一樽	" 3,200	" 3,200	×
セメント	白鉛	"	" 7,150	" 7,150	×
	小野田	"	" 4,800	" 4,800	×
	普四分板	一坪	" 1,100	" 1,100	×
	二間正四分板	"	" 1,600	" 1,600	×
	同正六分板	"	" 2,400	" 2,400	×
木	同正一寸板	"	" 3,600	" 3,900	×
	同一寸五分角	一本	" 270	" 270	×
	同二寸角	"	" 480	" 480	×

青島物價表 (七月三十一日)

□印騰貴 △印下落 ×印保合

品名	建物	單位	本月ノ價格	前月ノ價格	比較
(食料品)					
白糯米	印特撰赤	一石	金 53,000	金 50,000	□ 3,000
	"	"	" 51,000	" 48,000	□ 3,000
	"	"	" 50,000	" 47,000	□ 3,000
	特撰一	"	" 51,000	" 51,000	×
	特撰二	"	" 50,000	" 50,000	×
清酒	白眞東	鶴 四斗五升入一樽	" 59,000	" 59,000	×
		鶴	" 57,000	" 57,000	×
	正	宗	" 55,000	" 55,000	×
	キ	ン	四 打 入 一 箱	" 17,000	×
	ア	ヒ	" 16,500	" 16,500	×
麥酒	サ	ッ	" 16,500	" 16,500	×
	サ	ク	" 14,500	" 14,500	×
	シ	ト	四 打 入 一 箱	" 8,800	×
	三	矢	" 10,000	" 10,000	×
	正	喜	一 斤	" 1,100	×
飲料	青	柳	" 600	" 600	×
	川	柳	" 500	" 500	×
	龜	萬	一 斗 入 一 樽	" 7,800	□ 800
	龜	寶	" 7,500	" 6,800	□ 700
	白		一 斤	" 250	□ 200
醬油	中	白	" 400	" 240	□ 160
	澤	庵	百 目	" 150	×
	梅	干	" 200	" 200	×
	奈	漬	" 400	" 400	×
	樂	漬	" 130	" 180	×
砂糖	干	瓢	" 350	" 300	□ 50
	椎	茸	" 2,500	" 2,500	×
	昆	布	" 250	" 250	×
	凍	腐	" 250	" 250	×
	凍	藷	" 200	" 200	×
乾物類	劍	先	百 目	" 2,000	×
	二	番	" 1,000	" 800	□ 200
雜貨					

青島大港兩驛乘降人員 (七月中)

驛別	一 等 車		二 等 車		三 等 車		計	
	乘	降	乘	降	乘	降		
青島驛	137	143	540	612	15,695	24,642	16,372	25,397
大港驛	27	—	201	46	9,068	508	9,296	554
計 合	164	143	741	658	24,763	25,150	25,668	25,951
一月以降累計	1,188	1,131	5,326	6,470	176,531	223,983	183,045	231,584

青島屠獸場屠殺數 (八月中)

日次	牛	犢	豚	羊	山 羊	計
一 日	213	—	26	8	—	272
二 日	17	3	42	6	—	68
四 日	212	—	27	3	—	242
五 日	13	—	21	—	—	34
六 日	15	—	22	2	—	39
七 日	11	—	20	3	—	34
八 日	9	—	21	3	1	34
九 日	222	—	36	6	—	264
十 日	15	—	24	1	—	40
十一 日	220	—	25	3	—	248
十二 日	17	—	23	2	—	42
十三 日	63	—	26	1	—	90
十四 日	18	—	51	5	—	74
十五 日	261	—	94	7	—	362
十六 日	243	—	5	—	—	248
十七 日	17	—	18	3	—	33
十八 日	16	1	20	62	—	99
十九 日	248	—	22	23	—	293
二十 日	16	1	24	3	—	44
廿一日	233	1	37	9	—	280
廿二日	14	—	28	2	—	44
廿三日	19	—	25	3	—	47
廿四日	210	—	63	1	2	276
廿五日	88	—	21	5	—	114
廿六日	153	—	21	1	—	175
廿七日	20	1	39	4	—	64
合 計	2,613	7	781	161	3	3,565
一月以降累計	26,835	51	6,640	558	9	34,093

出 (港 乘 船 ノ 部)

國	籍	男女別	大連	大神戶	門司	其ノ他	朝鮮	上海	芝罘	香港	天津	マニラ	安東縣	石臼所	海州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計
日 本	人	男	343	163	368		8	38	—	—	1	—	—	—	2	—	—	—	—	923
		女	98	78	159		5	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	349
支 那	人	"	2,542	6	1	12	100	55	—	—	—	—	165	225	95	423	58	21	94	3,800
		"	161	—	—	2	21	8	—	—	—	—	12	6	7	101	12	5	24	359
英 國	人	"	6	—	—	—	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13
		"	1	—	1	—	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11
米 國	人	"	2	—	—	—	7	1	4	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	16
		"	1	—	—	—	4	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7
露 國	人	"	4	1	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9
		"	5	6	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12
佛 國	人	"	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
		"	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
ルーマニア人	人	"	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
		"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
丁 株	人	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
伊 太 利	人	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
		"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	計	"	2,897	170	371	23	160	56	4	2	1	165	225	97	423	58	21	94		4,767
		"	266	84	160	7	46	10	—	—	—	12	6	7	131	12	5	24		749
		計	3,163	254	531	27	206	66	4	2	1	177	231	104	527	70	26	118		5,507

青島港出入船舶旅客 (七月中)

●印ハ帆船出入旅客ヲ示ス

入 港 (上 陸 ノ 部)

國 籍	男女別	大連	大 神 戸	門 司 他	朝 鮮	上 海	芝 罘	臺 港	香 港	フ リ マ ス	マ イ セ ユ	福 州	マ ニ ラ	安 東 縣	石 臼 所	海 州	山 東 省	江 蘇 省	福 建 省	關 東 州	計
日 本 人	男	357	33	480	9	61	1	1	—	—	—	2	—	—	1	2	—	—	—	—	1,253
	女	133	166	276	7	19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	601
支 那 人	"	2,141	62	26	—	190	20	—	20	7	8	489	—	475	23	103	1,120	422	55	201	6,310
	"	182	3	2	—	33	6	—	11	—	—	—	—	53	21	2	207	109	6	29	664
英 國 人	"	4	—	—	—	40	—	—	3	9	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	57
	"	—	—	—	—	45	—	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	53
米 國 人	"	2	3	—	—	19	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	25
	"	1	—	—	—	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14
露 國 人	"	6	1	1	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14
	"	4	3	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12
佛 國 人	"	1	—	—	—	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16
	"	4	—	—	—	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20
和 蘭 人	"	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
比 律 賓 人	"	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
瑞 西 人	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
伊 太 利 人	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
合 計	"	2,511	40	597	9	341	21	1	133	747	489	2	1	475	237	108	1,120	422	55	201	7,582
	"	32	172	278	7	132	6	—	19	—	—	—	—	53	21	2	237	109	6	29	1,365
	計	2,835	574	785	16	473	27	1	152	747	489	2	1	528	258	110	1,327	531	61	230	9,947

入 港 入 部																		
仕 出 地	日 本 船			英 國 船			米 國 船			露 國 船			支 那 船			計		
	隻數	登 噸	簿數	隻數	登 噸	簿數	隻數	登 噸	簿數	隻數	登 噸	簿數	隻數	登 噸	簿數	隻數	登 噸	簿數
日 本 內 地	32	25,001		—	—		—	—		—	—		—	—		32	25,001	
大 連	12	13,343		—	—		—	—		—	—		—	—		15	13,343	
上 海	17	13,587		6	7,690		—	—		—	—		—	—		23	21,277	
芝 罘	—	—		—	—		—	—		—	—		—	—		—	—	
天 津	1	399		—	—		—	—		—	—		—	—		1	399	
其ノ他支那諸港	28	5,631		—	—		1	1,411		3	213		—	—		32	7,255	
臺 灣	1	962		—	—		—	—		—	—		—	—		1	962	
釜 山	—	—		—	—		—	—		—	—		—	—		—	—	
仁 川	3	1,557		—	—		—	—		—	—		—	—		3	1,557	
其 他 朝 鮮	—	—		—	—		—	—		—	—		—	—		—	—	
香 港	—	—		2	8,470		—	—		—	—		—	—		2	8,470	
麻 呢 刺	—	—		—	—		—	—		—	—		—	—		—	—	
浦 鹽	—	—		—	—		—	—		—	—		—	—		—	—	
其ノ他外國	—	—		—	—		—	—		—	—		—	—		—	—	
合 計	97	63,483		8	16,160		1	1,411		3	213		—	—		103	78,234	

出港汽船積荷噸數國籍別(七月中)

汽船國籍別	日 本 內 地			朝鮮	臺灣	大連	上海	芝罘	天津	其ノ他支那港	香港	浦鹽	マニラ	其ノ他外國	計
	大 神	阪 戶	門 司 其ノ他												
日 本 船	13,012.4	30,781.1	4,643.3	—	—	4,172.5	7,802.7	112.7	344.7	0.7	—	—	—	19.6	60,839.7
英 國 船	—	—	—	—	—	—	1,978.4	156.5	13.3	43.2	35.4	—	—	—	2,226.8
米 國 船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	67.6	—	676
和 蘭 船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
露 國 船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
支 那 船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	86.3	—	—	—	—	86.3
合 計	13,012.4	33,781.1	4,643.3	—	—	4,172.5	9,781.1	269.2	358.0	133.2	35.4	—	67.6	196	63,270.4

入港汽船揚荷噸數國籍別(七月中)

汽船國籍別	日 本 內 地			朝鮮	臺灣	大連	上海	芝罘	天津	其ノ他支那港	香 港	其ノ他外國	計
	大 神	阪 戶	門 司 其ノ他										
日 本 船	6,442.6	6,430.0	219.3	—	124.8	809.6	2,879.7	—	—	598.3	—	—	17,504.3
英 國 船	—	—	—	—	—	—	5,202.0	—	—	4.1	1,004.2	—	6,210.3
米 國 船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
和 蘭 船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
露 國 船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
支 那 船	—	—	—	—	—	—	—	—	—	618.3	—	—	618.3
合 計	6,442.6	6,430.0	219.3	—	124.8	809.6	8,081.7	—	—	1,220.7	1,004.2	—	24,332.9

品 目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
鐵 (古鐵ヲ含ム)	噸	—	—	—	—	—	—
銅 (真 鍮) 塊	"	—	—	—	—	—	—
其ノ他金屬	"	—	—	—	0.1	—	0.1
金屬製品	"	0.6	—	—	5.3	—	5.9
機 械	"	3.5	—	—	0.5	—	4.0
車 輛	"	0.6	—	—	14.8	—	15.4
桐 材	"	765.2	1.9	—	—	—	767.1
其ノ他木材	"	0.8	—	—	8.5	—	9.3
麥 稈	"	136.9	—	—	784.1	—	921.0
家 具	"	5.7	1.3	—	2.2	—	9.2
豆 粕	"	665.5	—	—	—	—	665.5
燐 寸	"	—	—	—	70.6	—	70.6
セ メ ン ト	"	—	—	—	0.2	—	0.2
石 油	"	—	—	—	—	—	—
鐵 礦	"	8,600.0	—	—	—	—	8,600.0
金銀銅貨紙幣	"	—	—	—	4.4	—	4.4
其ノ他	"	415.5	0.7	—	215.9	—	632.1
合 計	"	43,793.5	4,643.3	—	14,711.0	122.6	63,270.4

汽 船 仕 向 仕 出 地 別 (七 月 中)

出 港 ノ 部

仕 向 地	日 本 船			英 國 船			米 國 船			支 那 船			其ノ他			計		
	隻數	登 簿 噸數		隻數	登 簿 噸數		隻數	登 簿 噸數		隻數	登 簿 噸數		隻數	登 簿 噸數		隻數	登 簿 噸數	
日 本 內 地	25	26,381	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25	26,381	—
大 連	14	12,528	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	12,528	—
上 海	16	12,804	6	10,653	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22	23,457	—
芝 罘	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
天 津	2	1,455	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1,455	—
其ノ他支那諸港	33	5,756	2	2,556	—	—	—	—	3	213	—	—	—	—	—	38	8,525	—
臺 灣	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
釜 山	3	559	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	559	—
仁 川	6	3,131	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	3,131	—
其 他 朝 鮮	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
香 港	—	—	1	4,179	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	4,179	—
麻 呢 刺 鹽	—	—	—	—	—	1	1,411	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1,411	—
浦 其ノ他外國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	99	62,614	9	17,368	1	1,411	3	213	—	—	—	—	—	—	—	112	81,526	—

品 目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
其ノ他酒類	噸	—	—	—	7.1	—	7.1
鹽	"	11,035.0	4,290.0	—	—	—	15,325.0
其ノ他食料品	"	4.3	3.9	—	12.6	—	20.8
卷(刻ミ)煙草	"	—	—	—	13.1	—	13.1
葉煙草	"	—	9.5	—	2,369.3	—	2,378.8
獸骨	"	0.6	—	—	20.1	—	20.7
骨粉	"	74.6	—	—	—	—	74.6
牛皮革	"	77.1	—	—	—	—	77.1
其ノ他獸皮	"	—	—	—	—	—	—
羊毛	"	37.0	—	—	11.9	—	48.9
豚毛	"	—	—	—	—	—	—
落花生油	"	3,599.2	—	—	467.6	—	4,066.8
豆油	"	2,520.6	—	—	425.0	—	2,945.6
牛脂	"	27.5	—	—	105.7	—	133.2
豚脂	"	—	—	—	—	—	—
蓖麻子油	"	10.6	—	—	—	—	10.6
其ノ他油類	"	—	—	—	—	—	—
藥料及塗料	"	3.3	1.1	—	24.8	4.3	33.5
染料及塗料	"	—	—	—	6.1	—	6.1
綿絲	"	248.3	—	—	1,673.3	—	1,921.6
絹絲	"	110.6	—	—	18.9	—	129.5
絹屑絲	"	—	—	—	—	—	—
麻絲	"	—	—	—	—	—	—
棉花	"	—	110.0	—	55.0	—	165.0
繭(屑ヲ含ム)	"	233.4	—	—	—	—	233.4
綿布	"	12.0	—	—	169.8	—	181.8
絹布	"	—	—	—	19.9	1.3	21.2
麻袋	"	—	—	—	—	—	—
紙類	"	0.1	—	—	6.4	—	6.5
石炭(淄川)	"	8,500.0	—	—	0.1	—	8,500.1
石炭(博山)	"	834.0	1.0	—	5,110.3	—	5,995.3
石炭(撫順)	"	—	—	—	—	—	—
石炭(日本)	"	—	—	—	—	—	—
石炭(開平)	"	—	—	—	—	—	—
コークス	"	—	—	—	0.1	—	0.1
陶磁器	"	—	—	—	—	—	—
硝子及同製品	"	0.1	—	—	83.9	—	84.0

品 目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
蔴 類	噸	78.1	—	—	31.8	21.2	131.1
家 具	"	85.9	—	—	43.9	—	129.8
豆 粕	"	—	—	—	—	—	—
阿 片	"	—	—	—	—	—	—
石 油 空 罐	"	1,227.6	—	—	755.3	—	1,982.9
箱 材 料	"	1,216.2	—	—	90.3	—	1,306.5
繭	"	—	—	—	11.1	—	11.1
金 銀 銅 貨 紙 幣	"	—	—	—	—	—	—
其ノ他	"	413.7	6.7	—	130.3	25.8	576.5
合 計	"	12,872.6	219.3	124.8	10,112.9	1,994.2	24,332.9

埠頭船積貨物噸數仕向地別 (七 月 中)

品 目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
生 牛	噸	131.5	—	—	80.3	—	211.8
其ノ他動物	"	—	—	—	—	—	—
落 生 花 實	"	2,417.3	—	—	417.1	—	2,834.4
豆 類	"	—	—	—	33.6	—	33.6
小 麥	"	2,565.0	—	—	—	—	2,565.0
其ノ他穀類及種子	"	384.1	—	—	217.2	—	601.3
麥 粉	"	—	133.9	—	—	—	133.9
蔬 菜	"	—	—	—	9.8	—	9.8
果 實	"	—	3.3	—	835.5	27.0	865.8
核 子	"	—	—	—	1.3	—	1.3
白 砂 糖	"	95.6	16.7	—	57.8	—	170.1
赤 砂 糖	"	—	—	—	36.5	—	36.5
冰 砂 糖	"	—	—	—	24.3	—	24.3
鮮 魚 介	"	—	—	—	—	—	—
其ノ他海產物	"	0.9	—	—	178.3	2.8	182.0
牛 肉	"	25.4	—	—	2.1	67.6	95.1
鹽 豚 肉	"	—	—	—	—	—	—
其 他 獸 肉	"	—	—	—	—	—	—
豆 素 麵	"	—	—	—	—	—	—
鷄 卵	"	199.4	—	—	—	—	199.4
卵 製 品	"	1.5	—	—	230.5	19.6	251.6
麥 酒	"	0.2	70.0	—	879.1	—	949.3

品目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
皮革類	噸	4.6	—	—	2.2	2.0	8.8
石油類	"	—	—	—	—	—	—
桐油類	"	—	—	—	41.5	—	41.5
其他油類	"	77.7	—	—	10.7	—	88.4
蠟燭	"	7.4	—	—	33.4	—	40.8
石鹼	"	4.6	—	—	4.0	0.5	9.1
藥品	"	186.1	—	—	86.9	22.8	295.8
燐寸	"	141.4	—	—	—	—	141.4
染料及塗料	"	106.6	—	—	123.2	124.3	354.1
綿絲	"	46.9	—	—	1,336.7	—	1,383.6
絹絲	"	0.1	—	—	0.5	—	0.6
麻絲	"	1.2	—	—	—	—	1.2
棉花布	"	5.4	—	—	381.4	—	386.8
綿布	"	373.6	—	—	404.2	—	777.8
絹布	"	—	—	—	1.5	—	1.5
麻袋	"	309.7	—	—	28.8	50.4	388.9
洋物雜貨	"	274.8	—	—	12.1	64.6	351.5
日本紙	"	29.9	—	—	0.5	—	30.4
洋紙	"	66.4	—	—	9.2	—	75.6
支那紙	"	—	—	—	648.8	19.7	668.5
石炭 (撫順)	"	—	—	—	150.0	—	150.0
石炭 (日本)	"	1,976.5	—	—	—	—	1,976.5
石炭 (開平)	"	—	—	—	300.0	—	300.0
セメント	"	330.8	—	—	—	—	330.8
煉瓦及瓦	"	0.6	—	—	49.6	—	50.2
陶磁器	"	46.6	—	—	0.7	—	47.3
硝子及同製品	"	31.4	90.0	27.7	132.8	—	281.9
鐵 (古鐵ヲ含ム)	"	378.8	—	—	80.1	79.8	538.7
其他金屬	"	441.1	—	—	674.4	10.4	1,125.9
金屬製品	"	497.1	10.0	—	72.4	8.6	588.1
機械	"	170.1	1.3	—	67.5	—	238.9
電氣用品	"	74.1	—	—	3.2	—	77.3
車輛	"	42.4	0.5	—	30.0	—	72.9
竹材	"	5.9	—	—	105.7	—	111.6
木材 (板ヲ含ム)	"	2,341.2	—	—	714.1	—	3,055.3
燐寸材料	"	879.2	—	—	—	—	879.2
木炭	"	57.8	—	—	86.5	—	144.3

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
牛	著發	—	—	—	—	—	—	—
其ノ他	"	2,218	—	—	—	—	—	2,218
	"	38.6	30.3	59.9	—	31.7	3.2	166.7
	"	18.9	4.9	189.5	1.0	—	0.2	213.3
合 計	"	2,179.0	280.1	1,410.8	—	1,546.1	9.6	5,425.6
	"	3,691.3	90.3	3,159.6	6.9	8,837.0	0.3	15,785.4

埠頭陸揚貨物噸數仕出地別 (七 月 中)

品 目	單 位	日本内地	朝鮮	臺灣	支 那	其ノ他外國	計
白 米	噸	—	71.6	—	434.9	16.8	523.3
豆 類	"	8.4	3.9	—	33.6	—	45.9
高粱	"	—	—	—	—	—	—
蜀黍	"	—	—	—	0.6	—	0.6
小 麥	"	—	—	—	25.2	—	25.2
其ノ他穀類及種子	"	12.1	3.3	—	20.6	—	36.0
麥 粉	"	—	—	—	1,345.0	—	1,345.0
蔬 菜	"	34.6	—	—	5.8	—	40.4
果 實	"	16.0	—	—	5.4	0.5	21.9
茶	"	10.2	—	14.5	266.3	—	291.0
白 砂 糖	"	30.0	—	82.6	83.0	370.0	567.6
赤 砂 糖	"	—	—	—	—	138.8	138.8
氷 砂 糖	"	81.4	—	—	—	19.5	103.9
鮮 魚 介	"	2.5	—	—	—	—	2.5
昆布及海藻	"	2.4	—	—	0.1	—	2.5
其ノ他海產物	"	5.4	0.9	—	5.9	0.8	13.0
日 本 酒	"	107.5	3.3	—	0.2	—	111.0
洋 酒	"	17.0	—	—	16.7	—	33.7
支 那 酒	"	—	—	—	15.2	—	15.2
麥 酒	"	26.1	—	—	26.4	—	52.5
清 涼 飲 料	"	35.3	—	—	35.4	—	70.7
醬 油	"	41.4	4.0	—	9.5	—	54.9
味 噌	"	8.4	5.4	—	8.0	—	21.8
其ノ他食料品	"	183.4	2.9	—	81.7	27.7	295.7
卷(刻ミ)煙草	"	266.0	15.5	—	1,032.2	—	1,313.7

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
藥 煙 草	著發	—	—	4.3	—	—	—	4.3
茶	"	10.8	5.8	—	—	—	—	16.6
豚 毛	"	3.9	—	—	—	—	—	3.9
羊 毛	"	3.6	—	4.1	—	—	—	7.7
獸 骨	"	26.9	—	4.1	—	—	—	31.0
牛 皮	"	9.6	—	2.9	—	—	—	6.6
豚 皮	"	—	0.4	—	—	—	—	0.4
魚 類	"	215.8	7.5	2.5	—	—	—	225.8
昆布其ノ他海草	"	—	0.3	—	—	—	—	0.3
筴	"	3.6	—	—	—	—	—	3.6
木 粉	"	13.2	—	—	—	—	—	13.2
雜 貨(表中記載ノモノヲ除ク)	"	151.8	5.5	2.8	—	15.8	0.4	176.3
	"	—	0.1	8.8	0.1	—	—	9.0
燐 寸	"	24.5	3.4	83.3	—	—	—	91.7
燐 寸 材 料	"	—	—	—	—	41.0	—	41.0
火 藥 類	"	1.3	—	—	—	—	—	1.3
銅 貨	"	—	4.3	4.6	—	—	—	8.9
	"	—	5.0	—	0.8	—	—	5.8
青 銅 錢	"	—	—	—	—	—	—	—
銅 具	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
家 具	"	—	2.1	—	—	—	—	2.1
	"	—	2.5	—	0.1	—	—	2.6
麻 袋 及 布 袋	"	1.0	30.8	34.6	—	—	—	66.4
	"	—	7.4	—	—	—	—	7.4
清 涼 飲 料 水	"	—	—	—	—	—	—	—
容 器 類	"	33.2	3.4	—	—	—	—	39.6
豚	"	—	—	—	—	—	—	—
羊	"	—	—	—	—	—	—	—
騾 及 驢 馬	"	34	—	—	—	—	—	34

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
石 油	發 著	—	0.1	773.8	—	461.7	—	1,235.6
落 花 生 油	"	—	—	—	—	—	—	—
豆 油	"	5.3	0.8	543.5	1.0	—	—	553.6
牛 油	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	"	133.9	1.0	1,243.2	—	—	—	1,393.1
油 類(表中記載ノモノヲ除ク)	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	0.1	3.7	19.5	—	0.6	—	23.9
	"	—	4.0	—	—	—	—	4.0
油 粕	"	—	—	—	—	—	—	—
肥 料 各 種	"	34.6	—	—	—	—	—	34.6
麥 稈 眞 田	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	20.7	—	—	—	—	—	20.7
	"	0.1	1.1	—	—	—	—	1.2
安 平	"	—	—	—	—	25.3	—	25.3
	"	—	—	—	—	0.2	0.1	0.3
藁 及 粟 稈	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	16.9	—	—	—	—	—	16.9
鹽	"	3.0	0.9	—	—	—	—	3.9
砂 糖	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	189.2	2.5	45.9	—	59.8	—	297.4
日 本 酒	"	0.5	6.5	0.6	—	—	—	7.6
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
ビ ー ル	"	8.4	9.5	28.0	—	—	—	45.9
	"	—	—	—	0.1	—	—	0.1
支 那 酒	"	—	0.9	—	—	—	—	0.9
	"	—	2.8	0.4	—	—	—	3.2
食 料 品(表中記載ノモノヲ除ク)	"	14.8	22.1	3.4	—	4.4	—	44.7
	"	—	3.2	—	—	—	—	3.2
乾 物	"	—	5.7	—	—	—	—	5.7
	"	—	—	—	—	—	—	—
野 菜	"	—	2.3	—	—	—	—	2.3
	"	—	0.7	—	—	—	—	0.7
鷄 卵	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	0.1	23.7	74.5	1.4	—	—	104.7
藍	"	8.9	7.7	—	—	—	—	16.6
	"	—	—	—	—	—	—	—
染 塗 料	"	—	1.1	—	—	51.0	—	52.1
	"	36.7	1.0	30.0	0.1	—	—	67.8
藥 品 及 藥 材	"	1.8	11.3	14.5	—	—	0.5	28.1
	"	—	0.4	—	—	—	—	0.4
曹 達	"	19.1	0.1	—	—	—	—	19.2
	"	—	—	—	—	—	—	—
石 鹼	"	—	1.5	—	—	—	—	1.5
	"	—	—	—	—	—	—	—
煙 草	"	67.8	32.6	—	—	220.9	—	321.3
	"	—	2.3	—	0.3	—	—	2.6

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
高粱	發着	—	—	—	—	27.5	—	27.5
小米	麥	40.4	—	—	—	2.5	—	42.9
	"	355.0	—	128.9	—	1,581.4	—	2,053.3
米	"	8.7	13.8	1.6	—	—	—	21.1
	"	—	1.8	—	—	—	—	1.8
穀類	(表中記載ノモノヲ除ク)	56.8	—	7.8	—	—	—	64.6
	"	0.7	1.7	—	—	—	—	2.4
落花生	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	10.9	—	—	—	10.9
麥粉	"	0.1	0.6	—	—	—	—	0.7
	"	3.1	0.1	—	—	—	—	3.2
陶磁器及土器	"	—	0.4	—	—	—	—	0.4
	"	70.8	0.1	45.0	—	—	—	115.9
支那紙	"	78.0	2.9	13.6	—	—	—	94.5
	"	—	0.9	—	—	—	—	0.9
紙 (支那紙ヲ除ク)	"	6.6	1.4	—	—	—	—	8.0
	"	—	—	—	—	—	—	—
麻	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
	"	4.5	—	—	—	—	—	4.5
棉	"	10.1	0.1	—	—	216.0	—	226.2
	"	6.0	—	65.0	—	33.2	—	107.2
綿布	"	—	8.4	—	—	—	—	8.4
	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
綿絲	"	65.6	12.7	14.4	—	—	—	92.7
	"	—	1.0	151.3	—	—	—	155.3
綿製品	"	—	5.0	—	—	—	—	5.0
	"	—	2.7	—	—	—	—	2.7
絹絲 (屑ヲ含ム)	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	"	7.3	1.5	—	—	—	—	8.8
絹布類	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	3.0	—	—	—	—	—	3.0
繭 (屑繭ヲ含ム)	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	5.0	0.9	15.3	—	21.2
棗	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
梨	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
乾柿	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
胡桃	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
蜜柑	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
瓜及西瓜	"	160.6	1.8	26.2	—	—	—	188.6
	"	—	—	—	—	—	—	—
瓜子	"	—	1.4	—	—	—	—	1.4
	"	—	—	—	—	—	—	—
果實 (表中記載ノモノヲ除ク)	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
	"	1.0	—	—	—	—	—	1.0

品 目	單位	上 海	芝 罘	大 連	其 ノ 他	合 計
同 (白)	擔	—	—	—	—	—
茶 草 刻	"	1,311	—	—	—	1,311
煙 製 品	"	6	—	—	—	6
木 製 品	"	—	—	—	—	—
夏 布 精 製	"	—	—	—	—	—

青島三驛發著貨物主要品 (七月中)

(單位噸以下一位獸類頭數)

品 目	發 著	青 島 驛		大 港 驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
石 炭	發著	615.0	—	235.0	—	45.0	—	895.0
	"	1,123.5	0.6	195.0	0.1	5,895.0	—	7,214.2
コ - ク ス	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	"	210.0	—	—	0.1	1,140.0	—	1,350.1
石 灰	"	—	1.1	—	—	—	—	1.1
	"	1,251.3	—	27.6	—	163.0	—	1,446.9
煉 瓦 (瓦ヲ含ム)	"	56.7	0.2	6.0	—	—	—	62.9
	"	1.5	—	—	0.1	—	—	1.6
セ メ ン ト	"	40.2	—	—	—	75.0	—	115.2
	"	—	—	205.9	—	—	—	205.9
硝 子 板	"	0.2	1.5	—	—	—	—	1.7
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
硝 子 製 品	"	—	0.6	—	—	—	0.5	1.1
	"	30.5	0.5	—	—	—	—	31.0
桐	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	77.8	—	174.9	0.7	—	—	253.4
木 材 (板ヲ含ム)	"	259.8	12.2	30.9	—	155.3	0.3	458.5
	"	—	0.5	9.8	—	—	—	10.3
竹 及 割 竹	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
石 白	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
石 材 及 同 製 品	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
鐵 板 鐵 製 品	"	14.0	17.4	32.3	—	109.6	4.7	173.0
	"	9.9	2.9	1.7	0.1	0.9	—	15.5
鐵 鍋	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
	"	—	—	—	—	—	—	—
古 鐵	"	68.9	1.8	0.8	—	—	—	71.5
	"	15.0	—	—	—	—	—	15.0
大 豆	"	60.1	—	—	—	—	—	60.1
	"	—	—	—	—	—	—	—
豆 類 (大豆ヲ含ク)	"	—	0.6	—	—	—	—	0.6
	"	—	—	1.1	—	—	—	1.1

輸入支那品仕出地別 (同 上)

品 目	單位	上 海	芝 罘	大 連	其 ノ 他	合 計
(綿 製 品 類)						
シーチング(上海)	疋	17,960	—	—	—	17,960
雲 齋 布(同)	疋	125	—	—	—	125
土 布	擔	12	—	5	—	17
花 色 土 布	擔	64	—	—	—	64
綿 織 絲	擔	7,462	—	—	—	7,462
(雜 貨)	擔	—	—	—	—	—
砒 石	担	148	—	—	—	148
砒 竹	担	—	—	—	—	—
竹 筴	担	—	—	—	—	—
筍	〃	10	—	—	—	10
書 籍	〃	14	—	—	—	14
蠟 燭	〃	—	—	—	—	—
米	〃	6,950	—	93	—	7,043
磁 石	〃	—	—	—	—	—
紙 卷 煙 草	担	2,714	—	38	—	2,752
石 炭(撫順開平)	噸	—	—	150	—	150
紙 扇	箇	—	—	—	—	—
小 麥 粉 機 械 製	担	17,363	—	—	—	17,363
夏 布 粗 製	〃	3	—	—	—	3
藥	〃	23	—	13	7	43
桐 油	〃	422	—	—	—	422
紙 一 等 品	〃	292	—	—	—	292
同 二 等 品	〃	2,142	—	—	—	2,142
同 錫 箔	〃	725	—	—	7	732
同 其 ノ 他	〃	8	—	—	—	8
糖	〃	212	—	—	—	212
三 蒸 酒	〃	78	—	—	—	78
靴 綿 及 絹 製 白	隻	844	—	—	—	844
生 絲	担	—	—	—	—	—
同 黃 品	担	—	—	—	—	—
同 製 品	斤	343	—	6	—	349
同 石 鹼 條 形 田	担	2	—	47	—	49
砂 糖 (赤)	〃	—	—	—	—	—

[illegible]

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
石 鹼	擔	34	—	—	—	—	2	—	—	36
同 化 粧	海關兩	288	—	—	90	—	211	—	—	589
曹 醬	担	10	—	—	336	—	55	392	—	793
糖 (赤)	擔	409	—	—	—	—	—	33	—	442
砂	〃	—	—	—	2,616	—	—	—	—	2,616
同 (白)	〃	—	—	—	6,088	—	—	—	—	6,088
同 精 製	〃	2,351	—	—	1,350	—	23	14	—	3,738
同 冰	〃	1,200	—	—	324	—	—	—	—	1,524
同 材 (堅)	立方呎	31,598	—	—	—	—	3,573	20	—	35,191
同 (軟)	〃	1423,186	—	—	—	—	43	9,192	—	1432,421
針	千 本	8,950	—	—	—	—	—	—	—	8,950

輸 出 支 那 品 仕 向 地 別 (同 上)

品 目	單位	日 本	露 國	英 國	香 港	其ノ他	大 連	上 海	其ノ他	合 計
生 豆	頭	360	—	—	—	—	134	—	—	494
黃 牛	担	11,451	—	—	—	—	—	—	—	11,451
獸 肉	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
骨	クオ一担	28	—	—	—	1,297	21	8	—	1,354
銅 塊	担	1,248	—	—	—	—	363	—	—	1,611
豚 毛	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
氈 帽	〃	—	—	—	—	—	—	109	—	109
東 炭	個	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山 花	噸	514	—	—	300	—	—	5,279	50	6,143
錫 黑	担	520	—	—	—	—	9	—	85	614
蛋 乾	〃	—	—	—	11	—	—	988	22	1,021
棗 白	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
黃 蛋	〃	—	—	—	—	—	—	481	—	481
乾 蛋	〃	183	—	—	—	—	—	1,763	—	1,946
雞 卵	〃	—	—	—	—	—	—	33	—	33
鵪 鶉	個	1,196,100	—	—	—	—	—	—	—	1,193,100
麻 鹽	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
果 鮮	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
硝 子	〃	—	—	—	—	—	—	2,965	—	2,965
落 花	〃	—	—	—	23	—	—	204	236	463
同 生 仁	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	個	42,143	—	—	—	—	6,013	924	—	49,0800

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
銅 鈕 釦 花 鈕 釦	哥 担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
蠟 燭	担	46	—	—	—	—	308	—	—	354
セ メ ン ト	//	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	担	504	—	—	—	—	—	—	—	504
磁 石 瓦 器	海關兩	1,969	—	—	—	—	13	—	—	1,982
紙 卷 煙 草	千 本	—	—	—	—	—	16,790	—	—	16,790
同 (日本品)	//	2,080	—	—	—	—	—	—	—	2,080
掛 置 時 計	個	496	—	—	—	—	—	—	—	496
石 炭	噸	4,291	—	—	—	—	—	—	—	4,291
(染料顏料塗料)										
ア ニ リ ン	海關兩	—	—	—	—	—	1,420	—	—	1,420
人 造 藍	担	—	—	—	—	—	49	—	—	49
天 然 藍 液 狀	//	—	—	—	785	—	64	—	—	849
白 鉛 粉	//	27	—	—	95	—	—	—	—	122
ロ シ ン グ フ ー	//	—	—	—	—	—	—	—	—	—
越 幾 斯										
電 氣 材 料	海關兩	6,014	—	—	—	—	835	—	—	6,849
珉 瑯 洗 面 器	打	612	—	—	—	—	—	—	—	612
麥 粉	担	19	—	—	—	—	7	—	—	26
窓 硝 子	箱	972	—	—	—	—	1	27	—	1,000
洋 燈 及 洋 燈 器	海關兩	823	—	—	—	—	195	96	—	1,114
燐 寸 (黃 燐)	哥	20,833	—	—	—	—	—	—	—	20,833
同 (安 全)	//	300	—	—	—	—	—	—	—	300
疊 及 莫 座	枚	8,363	—	—	7,320	—	—	—	—	15,683
コンデンスミルク	打	236	—	—	—	—	31	300	—	567
石 油 (米品箱入)	ガロン	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	//	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (露國箱入)	//	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	//	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ス マ ト ラ (裸)	//	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (箱入)	//	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本箱入)	//	230	—	—	—	—	—	—	—	230
同 (裸)	//	—	—	—	—	—	—	—	—	—
紙 胡 椒	担	360	—	—	40	—	103	9	—	512
米	//	—	—	—	107	—	—	—	—	107
昆 布	//	1,354	—	—	304	—	—	—	—	1,658
日 本 酒	//	22	—	—	—	—	—	1	—	23
	//	428	—	—	—	—	—	—	—	428

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	計	合
タ オ ル	打	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	〃	1,332	—	—	—	—	—	—	—	—	1,332
綿織絲 (印 度)	担	—	—	—	—	—	36	—	—	—	36
同 (日 本)	〃	341	—	—	—	—	—	—	—	—	341
綿 織 絲(絲卷)	哥	2	—	—	—	—	248	—	—	—	250
(毛綿交織類) ユニオン及ボンチ ヨークローズ	碼	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(毛製 品 類)											
綾 吳 呂	疋	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
羅 世 伊 多	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
伯林ウール及毛絲 (雜質織物類)	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
絹 製 品 交 織 (金 屬 品)	斤	844	—	—	—	—	—	50	—	—	894
片	担	16	—	—	—	—	—	—	—	—	16
線	〃	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1
銅 板	〃	44	—	—	—	—	—	—	—	—	44
鐵及軟鐵 (新)											
條	担	145	—	—	319	—	1	5	—	—	470
屑 鐵 及 屑 鐵 線	〃	—	—	—	101	—	—	—	—	—	101
箆	〃	—	—	—	—	—	70	—	—	—	70
橡	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
釘 用 竿 鐵	〃	—	—	—	100	—	—	—	—	—	100
ネール(ワイヤー)	〃	543	75	—	—	—	505	—	—	—	1,123
片 及 板	〃	338	—	—	—	—	199	—	—	—	567
線	〃	6	—	—	—	—	—	—	—	—	6
鐵 及 軟 鐵(古)	〃	2,982	—	—	1,009	—	44	—	—	—	4,035
鍍 金 鐵 片	〃	6	—	—	—	—	138	—	—	—	144
鉛 塊	〃	1	—	—	197	—	15	—	—	—	183
鋼 鐵	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
葉 鐵	〃	338	931	—	—	—	9,117	—	—	—	10,386
白 銅 片 及 線 (雜 貨)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
麻 袋	枚	127,790	—	—	40,000	—	20,000	—	—	—	187,790
麥 酒	担	920	—	—	—	—	80	400	—	—	1,400
綿 帶	〃	332	—	—	—	—	—	—	—	—	332
バ タ 一	〃	5	—	—	—	—	7	1	—	—	13

青島輸出入貿易 (七月中)

—海關貿易統計—

輸入外國品仕出地別

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
精製阿片 (綿製品類)	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生金巾	疋	1,180	—	—	—	—	2,025	—	—	3,205
シーチング(米品)	"	—	—	—	—	—	180	—	—	180
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	60	—	—	60
同 (日本品)	"	4,600	—	—	—	—	—	—	—	4,600
晒金巾	"	2,890	—	—	—	—	1,495	50	—	4,435
綾金巾	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
雲齊布(米品)	"	—	—	—	—	—	120	—	—	120
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	20	—	—	20
同 (日本品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
シェーン(米品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (和蘭品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	"	1,007	—	—	—	—	—	—	—	1,007
天竺布三十二吋	"	—	—	—	—	—	1,500	—	—	1,500
同 (日本品)	"	16,782	—	—	—	—	2,000	—	—	18,782
寒冷紗及綿紗	"	20	—	—	—	—	17	—	—	37
平織捺線染色各種	"	24,119	—	—	—	—	521	—	—	24,640
チンズ及平織更紗	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フリンテット フローネチュロー	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
捺線綿襪子	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
捺線天竺布	"	—	—	—	—	—	257	—	—	257
コットンイタリア ン及ラッスینگ	"	2,735	—	—	—	—	1,023	—	—	3,758
イーズトブラック	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同平織染色	"	—	—	—	—	—	57	—	—	57
同 綾	"	—	—	—	—	—	32	—	—	32
緋金巾及綿天竺布	"	—	—	—	—	—	290	—	—	290
綿スパニシスト イブ六十四吋	担	—	—	—	—	—	24	—	—	24
綿フランネル	"	1,171	—	—	—	—	—	—	—	1,171
同フランケット	"	—	—	—	—	—	5	—	—	5
手 巾	打	325	—	—	—	—	4	—	—	329

◁青島實業協會月報第貳拾壹號統計表目次▷

□青島輸出入貿易(七月中)	1
□青島三驛發著貨物主要品(七月中)	7
□埠頭陸揚貨物仕出地別(七月中)	11
□埠頭船積貨物仕向地別(七月中)	13
□出港汽船仕向地別(七月中)	15
□入港汽船仕出地別(七月中)	16
□出港汽船積荷噸數國籍別(七月中)	16
□入港汽船揚荷噸數國籍別(七月中)	16
□青島港出入船舶旅客表(七月中)	17
□青島大港兩驛乘降客人員(七月中)	19
□青島屠獸場屠殺數(八月中)	19
□青島物價表(七月末調)	20

在現月九年八正大

青島實業協會會員

(定不序順)

會 員		代 表 者	所 在	會 員		代 表 者	所 在
岩 城 商 會 支 店	伊藤忠商事株式會社青島支店	田邊郁太郎	早舟町	江商株式會社 青島支店	一宮 晃	所澤町	
原田汽船株式會社青島支店	川畑竹馬	淵田太郎	所澤町	安部幸兵衛商店 青島出張店	副島高市	所澤町	
日本郵船株式會社青島出張事務所	近澤武男	所澤町	所澤町	湯淺貿易株式會社 青島出張所	小林 乃	葉櫻町	
日本綿花株式會社 青島出張所	林田 勇	葉櫻町	葉櫻町	三井物產株式會社 青島支店	飯塚重五郎	所澤町	
東和 公 司 青 島 支 店	河原熊太郎	北京町	北京町	南滿洲鐵道株式會社 青島出張所	內 丸 勇	葉櫻町	
東亞煙草株式會社 青島販賣所	西村義郎	北京町	北京町	峯 村 洋 行	峯村正三	葉櫻町	
朝鮮 銀 行 青 島 支 店	常世克己	北京町	北京町	合名會社鈴木商店 青島出張所	金子慶治	吳淞町	
大倉商事株式會社 青島出張所	石橋藤次郎	所澤町	所澤町	中 村 組 青 島 支 店	原 辰治	吳淞町	
橫濱正金銀行青島支店	太田保一郎	早舟町	早舟町	和 盛 公 司	石本貫一	若葉町	
大連汽船株式會社 青島出張所	松本文三郎	所澤町	所澤町	東洋鹽業株式會社 青島支店	秋元定恭	大和町	
大日本麥酒株式會社 青島出張所	三宅重孝	葉櫻町	葉櫻町	泰 利 商 會	松崎 翠	早霧町	
內外綿株式會社 青島出張所	佐々木國藏	市外四方庄	市外四方庄	山 東 興 業 株 式 會 社	空閑知鷺治	早舟町	
山 田 出 張 所	山田三平	北京町	北京町	吉 澤 洋 行	吉澤干城	市場通	
三菱商事株式會社濟南出張所	濱 丈夫	市場通	市場通	青島製粉株式會社支店	百 溪 深	三月月町	
茂木合名會社青島出張所	永井 貢	葉櫻町	葉櫻町	新 利 洋 行 出 張 所	古賀茂登吉	野山町	
神戸棧橋株式會社 青島派出所	河南 薰	早舟町	早舟町	梶 野 洋 行	重野義雄	河南町	
山東運輸株式會社 青島支店	神谷武松	葉櫻町	葉櫻町	福昌公司 青島出張所	田中 昇	若葉町	
日華協信公司 青島支店	藤波茂時	北京町	北京町	南昌洋行 青島出張所	中村道三	葉櫻町	
青 島 絲 廠	鈴木格三郎	工場地	工場地	內外貿易株式會社青島出張所	河上律一	早霧町	
山東化學工業所	磯野清平	工場地	工場地	大連製氷株式會社青島支店	倉脇武治	三月月町	
青島鹽業株式會社	月成元俊	濟南町	濟南町	龍 口 銀 行 青 島 支 店	原田 昇	保定町	
				東省實業株式會社青島支店	弘岡半次郎	若葉町	

大正八年九月十八日印刷

大正八年九月二十日發行

大正七年八月十九日第三種郵便物認可（每月一回二十日發行）

發行兼編輯者
印刷所
印刷所
印刷所

青島靜岡町十番地吉見正任
青島靜岡町十番地青島實業協會
青島靜岡町十四番地青島新報社
青島靜岡町十四番地足立孝

（實費銀參拾錢）

青島										青島									
名	所在地	工業主	事業ノ種類	資本金	坪建數物	者就數業	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要		名	所在地	工業主	事業ノ種類	資本金	坪建數物	者就數業	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要	
青島絲廠	二若鷗町	鈴木格三郎	生絲、製絲	銀六十萬圓	三〇〇〇	一〇〇〇	八萬斤	二萬餘ノ計畫		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
內外綿株式會社	市外四方	內外綿株式會社	綿絲紡績	銀二百萬圓	二〇〇〇	一〇〇〇	八萬斤	二萬餘ノ計畫		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
三井油房	二若鷗町	三井物產株式會社	豆油、花生油、製及	出必要ニ應シ	五五	一〇〇	三十萬兩	一箇五十六斤半		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
東和油房	同	三宅駿二	榨油	一百萬圓	二五〇	一〇〇	二十萬兩	最大能力高		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
湯淺油房	葉櫻町	小林乃	再製油	出本社ヨリ支	二五〇	一〇〇	二十萬兩	最大能力高		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
峰村洋行精油工場	同	峰村正三	再製油	五十萬圓	三〇	一〇〇	四十萬兩	同		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
鈴木油房	弓張町	金子慶治	生油、豆油、其他精製油	銀十萬圓	三〇〇	一〇〇	四十萬兩	同		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
新利洋行油房	二若鷗町	古賀茂登吉	同	五萬圓	四〇〇	一〇〇	四十萬兩	同		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
泰利商會油房	早霧町	松崎翠	精製植物油	六萬圓	二〇〇	一〇〇	四十萬兩	同		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
吉澤洋行油房	青柳町	吉澤干城	生油、豆油、其他精製油	十萬圓	三〇〇	一〇〇	四十萬兩	同		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
青島製油株式會社	大川町	青島製油株式會社	榨油及精製油	達一萬五千圓	八〇〇	未定	同上	定本年未開業ノ豫		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
東洋製油株式會社	二若鷗町	株式會社	榨油	八十萬圓	二五〇	未定	同上	定本年未開業ノ豫		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
山東製油株式會社	同	株式會社	同	一百萬圓	五五	未定	同上	定本年未開業ノ豫		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
豐盛公司鐵工場	三笠町	岡本楠郎	鐵工、鑄造、機械修理	銀十萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
堀向鐵工場	早霧町	堀向倉治	機械修理	銀十萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
永順鐵廠	清和街	支那人	鑄造、鍛冶	銀二十萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
德盛鐵廠	早霧町	同任子厚	同	銀六萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
天德鐵工場	二若鷗町	高橋林太郎	鐵工	銀五萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
青島分工場	濟南町	宮崎重一	鐵工	三萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
旭煉瓦工場	西吳家鎮	井上精一	煉瓦製造	銀三萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
青山煉瓦工場	同	青山松五郎	同	銀二萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
源盛煉瓦工場	仲家窪鎮	楊聖訓	同	銀三萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
全盛號煉瓦工場	同	楊家全	同	銀四萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
同春德膏	同	同可才	同	銀一萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
勒馬齊膏廠	四方	文鳴鄉	同	銀一萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
義和窯場	西吳家鎮	張宜正	同	銀一萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
順聚誠工場	同	于瑞端	同	銀二萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
義泰公司工場	同	宋振業	同	銀一萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
復和祥工場	小蘆村鎮	徐中樞	煉瓦製造	銀二萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
大倉商事會社	西鎮	林大倉商事	牛皮鹽藏	銀三十萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
牛皮鹽藏株式會社	同	明治製革	同	出本社ヨリ支	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
明治青島鹽藏株式會社	同	同	同	同	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
德盛洋行製革部	西鎮	石井久次	皮革製造販賣	十萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
青島燐寸株式會社	西小市街	株式會社	燐寸製造	三十萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
山東火柴公司	同	明石惣五郎	同	銀五萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
山東化學工業所	二若鷗町	佐志雅雄	油脂工業	十五萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
信昌洋行石油及精製油	停車場通	津下信義	石油製造	銀七萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
和洋硝子製造工場	西鎮	杉兼次郎	硝子器製造	銀一萬八千圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
山東玻璃製造所	四方	金森共助	硝子器製造	一萬三千圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
青島日本酒株式會社	長通鎮	株式會社	麥酒釀造	銀五十萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
青島大連製水株式會社	三月月町	株式會社	製冰	五十萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
青島製粉株式會社	同	株式會社	麥粉製造販賣	五十萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
山東採油骨粉商會	四方	高橋圭吉	骨粉製造	一百萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
青島鹽業株式會社	早霧町	青島鹽業株式會社	再製鹽	六萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
裕長醬園	芝罘町	沙那那	支那醬油製造	銀一萬九千圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
同和醬公司	廣島町	同和醬公司	同	銀一萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
岩腸醬油醸造工場	深山町	岩腸作惣	醬油味噌製造	三萬七千圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
東魯火柴公司	中臺通鎮	村井八百吉	燐寸及軸木製造	五十萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
山東製軸所	二若鷗町	中村小一郎	軸木製造	銀十萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要
和田製材所	同	和田光藏	製材業	銀二萬圓	二五〇	一〇〇	四十萬兩	同上		株式會社	早霧町	株式會社	製糖	九萬圓	三〇	六	六〇千五百斤	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要

李村管區内										李村管區内									
名	所在地	工業主	事業ノ種類	資本金	坪建數物	者就數業	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要		名	所在地	工業主	事業ノ種類	資本金	坪建數物	者就數業	一箇年生產額又ハ販賣高	摘要	
山東興業株式會社	滄口	株式會社	耐火磚、土製品	一百萬圓	三〇〇〇	一〇〇〇	六十萬圓	目下工場建設中		山東興業株式會社	滄口	株式會社	耐火磚、土製品	一百萬圓	三〇〇〇	一〇〇〇	六十萬圓	目下工場建設中	
山東窯業株式會社	同	伊藤守松	耐火磚、土製品	五十萬圓	三〇〇	一〇〇	三十萬圓	同上		山東窯業株式會社	同	伊藤守松	耐火磚、土製品	五十萬圓	三〇〇	一〇〇	三十萬圓	同上	
孤山煉瓦工場	孤山莊	岩城宇吉	獨逸型赤煉瓦製造	五萬八千圓	八〇	三〇	三百五十萬	同上		孤山煉瓦工場	孤山莊	岩城宇吉	獨逸型赤煉瓦製造	五萬八千圓	八〇	三〇	三百五十萬	同上	
沙嶺庄煉瓦工場	沙嶺庄	岩城宇吉	獨逸型赤煉瓦製造	四萬圓	八〇	三〇	三百五十萬	同上		沙嶺庄煉瓦工場	沙嶺庄	岩城宇吉	獨逸型赤煉瓦製造	四萬圓	八〇	三〇	三百五十萬	同上	
山東鹽化工業組合	滄口	工業用藥品製造	工業用藥品製造	銀二萬圓	七〇	未定	未定	最近開業ノ豫定		山東鹽化工業組合	滄口	工業用藥品製造	工業用藥品製造	銀二萬圓	七〇	未定	未定	最近開業ノ豫定	
山東洋粉公司	沙千口	上杉佛三	寒天製造販賣	銀二千圓	八〇	三〇	三百五十萬	同上		山東洋粉公司	沙千口	上杉佛三	寒天製造販賣	銀二千圓	八〇	三〇	三百五十萬	同上	
杞柳工場	李村河南	金甲一	杞柳細工	銀三千二百圓	二五	三〇	五萬圓	同上		杞柳工場	李村河南	金甲一	杞柳細工	銀三千二百圓	二五	三〇	五萬圓	同上	
日華窯業株式會社	白虎山下	株式會社	耐酸、耐火、土製品	二百萬圓	三〇〇	一〇〇	六十萬圓	同上		日華窯業株式會社	白虎山下	株式會社	耐酸、耐火、土製品	二百萬圓	三〇〇	一〇〇	六十萬圓	同上	
福順洋行工場	博山	宮本一二	土管、耐火煉瓦製造	銀二萬圓	三〇	六	六十萬圓	同上		福順洋行工場	博山	宮本一二	土管、耐火煉瓦製造	銀二萬圓	三〇	六	六十萬圓	同上	
和久煉瓦工場	金嶺鎮	和久久太郎	黑煉瓦製造	五萬圓	一〇	三	六十萬圓	同上		和久煉瓦工場	金嶺鎮	和久久太郎	黑煉瓦製造	五萬圓	一〇	三	六十萬圓	同上	
三益公司博山支店	博山	合田澤太	土管、耐火煉瓦製造	銀一萬三千圓	三〇	六	六十萬圓	同上		三益公司博山支店	博山	合田澤太	土管、耐火煉瓦製造	銀一萬三千圓	三〇	六	六十萬圓	同上	
桑組出張店工場	南定	田中正吉	煉瓦製造	二萬圓	三〇	六	六十萬圓	同上		桑組出張店工場	南定	田中正吉	煉瓦製造	二萬圓	三〇	六	六十萬圓	同上	
富泰號工場	同	小林字一郎	同	五千圓	三〇	六	六十萬圓	同上		富泰號工場	同	小林字一郎	同	五千圓	三〇	六	六十萬圓	同上	
青島雞卵加工工場	張店	株式會社	卵粉加工工業	銀四萬圓	三〇	六	六十萬圓	同上		青島雞卵加工工場	張店	株式會社	卵粉加工工業	銀四萬圓	三〇	六	六十萬圓	同上	
東和公司炭灰製造所	博山	三宅駿二	炭灰製造	銀二十萬圓	三〇	六	六十萬圓	同上		東和公司炭灰製造所	博山	三宅駿二	炭灰製造	銀二十萬圓	三〇	六	六十萬圓	同上	
怡昌洋行	同	大慈彌榮	同	銀二十萬圓	三〇	六	六十萬圓	同上		怡昌洋行	同	大慈彌榮	同	銀二十萬圓	三〇	六	六十萬圓	同上	
中村組支店出張所	同	中村精七郎	同	銀十八萬五千圓	三〇	六	六十萬圓	同上		中村組支店出張所	同	中村精七郎	同	銀十八萬五千圓	三〇	六	六十萬圓	同上	
山東興業株式會社	同	株式會社	製炭及煉瓦	四十萬圓	三〇	六	六十萬圓	同上		山東興業株式會社	同	株式會社	製炭及煉瓦	四十萬圓	三〇	六	六十萬圓	同上	